

# 土器観察表

- 法量の欄にカッコのあるものは、同上復元による推定値である。  
 ○焼成、保存の欄は、不良、やや不良、普通、やや良好、良好の五段階で示してある。  
 ○その他の欄に弥生土器、土師器と注記のあるもの以外は、すべて須恵器である。  
 ○その他の欄に註とあるものは、欄末に別記してある。

出土遺構	土器番号	器種	法量(cm)				前地上の特徴	手法土の特徴	胎土	色調	焼成保存	取上番号	その他
			上径	副径	底径	高さ							
A-2号 横穴墓	1	杯身	9.5			4.5	立ち上がりは内両ぎみで、 端部にやや面をもつ。 受部は外上方に向い。 全体に厚手で胎高は深い。	底部外側へラコシ後 ハラケズリ。 底部内面は不整方向の ナデ。	長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	(外) 淡緑灰褐色 (内) 淡灰褐色	良好	→ヘタ記号 →A-10	
	2	杯身	10.7			4.3	立ち上がりは内傾し、端部 にやや面をもつ。 受部は長く水平方向へのび る。	外側へラコシ後、伸 仰中位以下ハラケズリ。 内面全体中位以下不整 方向のナデ。	長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	○淡緑灰褐色 ~灰褐色	やや 良好	→杯蓋14と →A-19	
	3	杯身	10.4			4.6	立ち上がりは内傾し、端部 にやや面をもつ。 受部は外上方向。 全体に厚手で胎高は深い。	外側へラコシ後、伸 仰中位以下ハラケズリ。 底部内面は不整方向の ナデ。	長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒多く含む。	(外) 明青灰褐色 (内) 淡青灰褐色	やや 良好	→杯蓋18と セットガ →ヘタ記号 →A-32	
	4	杯身	10.4			4.6	立ち上がりは内傾し、端部 はとがる。 受部は外上方向。 受部以下は厚手で深い。	底部外側へラケズリ後 横ナデ。	石英、長石 の砂粒など	灰褐色	良好	→A-26	
	5	杯身	11.2			4.3	立ち上がりは内両ぎみで、 端部は丸くおさめる。 受部は外上方向。 全体に厚手。	外側底部中位以下ハラ ケズリ。 底部内面は不整方向の ナデ。	長石、石英、 角閃石など 石英、砂粒 粒多く含む。	(外) 暗灰色	良好	→A-27	
	6	杯身	10.3			4.6	立ち上がりは内傾し、端部 を丸くおさめる。 受部はやや外上方向。 全体に厚手で胎高は深い。	外側底部へラケズリ。 内面全体中位以下不整 方向のナデ。	長石、石英、 角閃石など 微砂粒少し 含む。	(外)黄灰 色~濃青 色(内) 青灰色	やや 不良	→A-28	
	7	杯身	11.5			4.4	立ち上がりはやや内傾し、 端部を丸くおさめる。 受部は水平ないしやや外上 方へのびる。厚手。 全体に厚手で胎高は深い。	外側底部中位以下ハラ ケズリ。 底部内面は不整方向の ナデ。	長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒多く含む。	灰褐色 ~灰褐色	良好	→外面一部 自然釉が かかる。 →A-29	
	8	杯身	10.2			3.9	立ち上がりは内傾し、端部 を丸くおさめる。 受部は外上方向。 全体以下は厚手。	外側底部へラケズリ。 内面全体中位以下に不 整方向のナデ。	長石、石英、 角閃石など 微砂粒少し 含む。	明青灰褐色	良好	→A-20	
	9	杯身	10.4			3.8	立ち上がりは内傾し、端部 を丸くおさめる。 受部はやや外上方向。 全体以下は厚手。	外側底部下位以下ハラ ケズリ。 底面中央付近 はハラ切り後未調整。 底部内面は不整方向の ナデ。	長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	青灰色	良好	→A-22	
	10	杯身	(11.1)				立ち上がりは内傾し、端部 を丸くおさめる。 受部は外上方へのびる。		長石、石英、 角閃石など 微砂粒含む。	淡緑灰褐色	良好	→A-36	

出土遺構	土器番号	器種	法 量(cm)			形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取扱書写 その他の
			口径	側径	底径						
11	杯身	11.3			3.7	立ち上がりはやや内湾し、端部を丸くおさめる。 受部はやや外上方向。 全体に厚手。	外面部下段以下をへラケズリ。 底部内面は不整方向のナデ。	長石、石英、角閃石など 砂粒、微砂粒多く含む。	青灰褐色	良好	ヘラ記号 外面部に自然釉かかる。 A-25
12	杯身	10.6			3.4	立ち上がりはやや内湾し、端部を丸くおさめる。 受部はやや外上方向へのびる。 全体に厚手。	外面部下段以下をへラケズリ。 底部内面は不整方向のナデ。	長石、石英、角閃石など 砂粒、微砂粒を含む。	(外)青灰色～淡緑色 (内)淡緑色～灰色	普通	A-30
13	杯身(12.5)				3.7	立ち上がりはやや内湾し、端部は外上方向にとがる。 受部は外上方向へのびる。 全体に厚手。	外面部をへラケズリ。 内面底部は不整方向のナデ。	長石、石英、角閃石など 微砂粒含む。	青灰褐色	良好	外面部に自然釉かかる。 A-36
14	杯蓋	12.3			4.8	天井部と口縁部の境に2条の凹線。 天井部を丸く、胎体は深い。 天井より上は厚手。	天井部上半をへラケズリ。 天井部内面は不整方向のナデ。	長石、石英の砂粒多く含む。	淡緑灰色～黄灰色	普通	A-3
15	杯蓋(13.4)				4.5	天井部と口縁部の境に2条の深い凹線。 天井部を丸く、胎体は深い。	天井部上半をへラケズリ後ナデ。 天井部内面は不整方向のナデ。	長石、石英、角閃石など 微砂粒含む。	青灰色～暗灰色	良好	A-13
16	杯蓋	11.4			3.7	天井部と口縁部の境に凹線を1条。 天井部内面は不整方向のナデ。	天井部上半をへらおこし後へラケズリ。 天井部付近はへらおこしのままで。 天井部内面は不整方向のナデ。	長石、石英、角閃石など 砂粒、微砂粒含む。	青灰褐色	良好	A-1
17	杯蓋	12.4			3.9	天井部と口縁部の境に凹線を1条。 天井部内面は不整方向のナデ。	天井部上半へラケズリ。 天井部内面は不整方向のナデ。	長石、石英など砂粒、微砂粒含む。	青灰色～淡緑灰色	やや良好	A-4
18	杯蓋	12.4			4.2	天井部と口縁部の境に浅い凹線。その直上に凹線を1条。 天井部の凹線なし。	天井部へラケズリ。 内面天井部は不整方向のナデ。	長石の砂粒 細粒。	暗青灰色～青灰色	良好	A-5
19	杯蓋	12.6			3.7	天井部と口縁部の境とその直上に凹線を各1条。 天井部の凹線なし。	天井部上半へラケズリ。 内面天井部付近は不整方向のナデ。	長石、石英など微砂粒少含む。	(外)紫灰色～灰色 (内)暗灰色	良好	A-12
20	杯蓋	13.3			3.9	天井部と口縁部の境に浅い凹線を1条。 天井部の凹線なし。	天井部上半へラケズリ。 天井部内面は内外面とも不整方向のナデ。	長石の砂粒 細粒。	淡青灰色 外は口縁部が灰色	良好	A-23
21	杯蓋	12.6			4.2	天井部と口縁部の境に浅い凹線を1条。 全体に厚手。	天井部上半へラケズリ。 内面天井部付近は不整方向のナデ。	長石の砂粒 微砂粒微粉質。	青灰色	良好	A-21
22	杯蓋	12.9			3.6	天井部と口縁部の境とその直下に凹線を各1条。 全体に厚手。	天井部へラケズリ。 →1縁部にハケメ。	石英、角閃石など微砂粒 粒少量含む。	暗青灰色～青灰色	良好	A-21
23	透	11.1	9.4	4.7	14.3	底部中腰にごく浅い凹線を1周。	胴部下半をへラケズリ。	長石、石英。	暗青灰色	良好	A-44

出上造標 番号	土器 番号	器種	法 量(cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 上	色 調	焼成 保存	収上番号	その 他	
			口径	側径	底径	高さ								
B-1号 横穴墓	24	高杯	14.3	10.6	10.3		1条、胴部上半に凹線2条、口縁部下端に凹線1条。 △ハケ状工具で瓶部上半に16条の波状文、胴部両線の間に7条の刺突列点文。		角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。					
							△三角形透かしを2方向。 △内外面とも回転ナデ。 但し、杯部内面は不整 方向のナデ。	△長石、石英 など砂粒少 量含む。	△乳白色	△普通	△A-35			
							△肩部に一対の円形浮文を貼 りつける。 △肩部はほとんど偏平だが、 口縁部に痙攣してやや隆んで いる。	△部外は平行タキ(一 部残る)後、細いカミ メを追出し、最後に軽 くナデ調整。	△長石砂粒、 石英、角閃 石など微砂 粒少量含む。	△褐色～ 青褐色	△良好	△144部内 外面～体 部上半に 自然釉。	△A-45	
							△有段口縁。 △頭部に3条と1条の凹線を 巡らし、その直上及びその 間にハケ状工具による波状 文。	△胴部外表面は格子目タキ キ。 △胴部内面は青海波文タ キ後、下手に横方向 のハケ目調整。	△長石、石英、 角閃石、赤 色酸化鉄な ど鉄分含む。	△淡灰褐色	△やや ○頭床 不良	△C-36他		
							△有段口縁から近い頸部。 △肩がはり底部はいびつな丸 底。	△胴部外表面は平行タキ 後、あらいくつと調整。 △胴部内面は青海波文タ キ。	△長石、石英、 角閃石など 砂粒含む。	△青褐色～ 灰色	△良好	△口縁部一 局部に自 然釉。	△A-36他	
							△底部を欠く。 △胴部下半は厚手。	△内外面とも回転ナデ。	△長石の砂粒 やや粗著。	△灰褐色	△良好	△B-99		
							△三角形透かしを2方向。 △口縁部外表面に凹線を2条。	△内外面とも回転ナデだ が、杯部内面はその後 不整方向のナデ。	△長石、石英、 微砂粒混入。	△青褐色～ 暗青褐色	△良好	△B-77		
							△三角形透かしを2方向。 △口縁部外表面に凹線を2条。	△内外面とも回転ナデだ が、杯部内面はその後 不整方向のナデ。	△長石、石英、 など砂粒、 微砂粒含む。	△青褐色	△良好	△B-28		
B-2号 横穴墓	31	高杯	9.1	7.2	12.0		△波2方向透かしだが、1 段は切りこみだけ。 △口縁部に2条と1条、杯部 に1条ずつ、脚部透かしの 間に2条の凹線。 △杯部周縁の間に5条のハケ 状工具で刺突列点文。	△内外面とも回転ナデだ が、杯部内面はその後 不整方向のナデ。	△長石、石英、 など砂粒、 優れ粒や 多く含む。	△暗青褐色	△良好	△口縁部一 部に自然釉 かかる。	△B-97	
							△頭部は太く窓かく、下端に 凹線1条が残る。 △口縁部下端にも凹線2条。 △橋状工具で頭部上半に複数 の波状文、体部中央に5条基 位の刺突列点文。	△体部下部以下を丁寧に ヘラケツリ。	△長石、石英、 赤色酸化鉄 など砂粒、 微砂粒含む。	△青褐色	△良好	△B-98		
							△両肩に把手一材。 △表面の力が裏面より丸みが あり、口縁部は裏面寄りで 立ちあがる。	△体部は丁寧なヘラケツ リ後、表面のみナデ。 △口縁部は丁寧なナデ。	△長石砂粒目 だつが全体 に砂粒、微 砂粒少含む。	△綠褐色	△良好	△体部上半 以上一部 に自然釉	△B-83	

出土遺物	生型 高さ	同種	計量(cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎上	色調	焼成 保存	取上番号	
			口径	財深	底径	器高							
B-2分	34	横板	14.7	28.5		28.8	・胸肩に把手一対。 ・短くあまり外反しない頸部から口縁部を形成。 ・体部最大幅は下位にある。	・体部外面は格子状タキ最後部位にカキメ、内面は円弧状タキ。	・長石、石英など微砂粒少量含む。	・暗青灰色	・良好	B-84	
	35	横板		48.3				・外縁は格子状タキ最後部位にカキメ、内面は円弧状タキ。	・長石、石英、角閃石など微砂粒含む。	・淡灰褐色	・一部自然釉。	B-100他	
	36	腰		30.6			・最大幅は胴部中位にあり、底部はいびつな底。 ・胴部外面は平行タキの残ナデ、内面は青海波文タキ。	・口縁部内外両面ともナデ。 ・胴部外面は平行タキの残ナデ、内面は青海波文タキ。	・長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	・暗褐色	・良好	・一部自然釉。 ・輪床	B-49他
横穴蓋	37	杯身	12.0			4.6	・立ち上がりはほぼ直立、端部は丸くおさめる。 ・受部は断面に矧い。 ・全体に厚手で器高は深い。	・外縁底部へラケタリだが、底部未割裂。 ・内面底部下半以下は不整方向のナデ。	・長石、石英、角閃石、火山ガラスなど含む。	・暗褐色	・普通	・外面自然釉がかかる。	B-61
	38	杯身	11.8			4.7	・立ち上がりはほぼ直立し、端部は丸くおさめる。 ・受部は外上方に矧い。 ・内面底部上端に沈線状凹み。	・外縁底部へラケタリ。 ・内面底部下半以下は不整方向のナデ。	・長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒多く含む。	・暗褐色	・良好	・外面自然釉。	B-62
	39	杯身	10.9			4.3	・立ち上がりはほぼ直立し、端部は丸くおさめる。 ・受部は水平方向に長い。 ・内面底部上端に沈線状凹み。	・外縁底部付近はヘラケタリだが、中心部はヘラおここのまま。 ・内面底部不整方向ナデ。	・長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	・淡緑褐色	・やや ・不良	・54とセフト	B-28
-	40	杯身	11.5			4.4	・立ち上がりはやや内傾し、端部は丸くおさめる。 ・受部は外上方へ直線的。 ・内面底部上端に沈線状凹み。 ・全体に厚手。	・外縁底部へラケタリだが、中心付近はヘラおここのまま。 ・内面底部下半以下は不整方向ナデ。	・長石、石英、角閃石、火山ガラスなど砂粒、微砂粒含む。	・(外)灰色 ・(内)緑褐色	・やや ・良好	・54とセフト	B-29
	41	杯身	11.7			3.9	・立ち上がりは途中からほぼ直立し、端部は丸い。 ・受部は外上方へ矧い。 ・内面底部上端に沈線状凹み。	・外縁底部下半以上へラケタリ。	・長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	・暗褐色	・良好	・外面一部自然釉がかかる。	B-32
	42	杯身	11.2			4.2	・立ち上がりは内傾し、端部は丸い。 ・受部は外上方へ矧い。 ・内面底部上端に沈線状凹み。	・外縁へラコシのままである。 ・内面底部下半以下は不整方向のナデ。	・長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	・褐色	・やや ・良好	OB-60	
-	43	杯身	10.6			4.5	・立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部は外上方方向。 ・内面底部上端に沈線状凹み。 ・全体に厚手。	・外縁底部下半以下へラケタリ。	・長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	・暗青灰色	・良好	・52とセフト	B-67
	44	杯身	10.8			3.7	・立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部は外反気味。 ・内面底部上端に沈線状凹み。 ・全体に厚手。	・外縁底部下半以下へラケタリ。	・長石、石英、角閃石、火山ガラスなど含む。	・褐色	・良好	・外面一部に自然釉。	B-70
	45	杯身 (最大)	11.2 (最大)			4.6	・平面形、寸止めといひつ。 ・立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部は矧い。 ・内面底部上端に沈線状凹み。	・内面底部へラケタリが、中心付近にヘラおこし痕残る。 ・内面底部下半以下不整	・長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	・(外)淡緑色 ・(内)暗褐色	・良好	-	B-71

出土遺構	土器番号	器種	法量(cm)			形態上の特徴	手法上の特徴	胎土	色調	焼成保存	取上番号 その他の		
			口径	胴径	底径								
						・全体に厚手。	・方向のナデ。		色				
	46	杯身	10.7		4.2	・立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部端部に腹をもつ。 ・内面底部上端に沈線状跡み。 ・特に体部以下厚手。	・外表面薄手半ヘラケズリだが、中心付近にへりわこし痕残る。 ・内面体部下平不整方向のナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒多く含む。	・灰色～淡 緑褐色。	・良好 ・自然 ・口内凹凸 ・50とセッ トか ・B-72			
	47	杯蓋	11.5		4.2	・天井底部は扁平、天井部と11縁部の境に腹をもつ。 ・内面山縁部直上に凹線。 ・全体に厚手。	・外表面天井部上平ヘラケズリ。 ・内面天井部不要方向のナデ。	・長石修鉄源 著。施。石、 角閃石等 の風鉄跡。	・青灰褐色 ・外側は上 縁により 褐色化	・良好 ・口内凹凸 ・B-66			
	48	杯蓋	12.9		4.8	・天井部と口縁部の境に2条の凹線。 ・内面山縁部中位に凹段。 ・天井部厚手で器底は深い。	・天井部中央ヘラケズリ。 ・天井部へらこし後ナデ。 ・内面天井部凹段方向のナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	・淡緑灰色 ・内側一部 土塊によ り褐色化	・やや ・B-25			
	49	杯蓋	12.1		4.2	・天井底部は扁平、天井部と11縁部の境に浅い凹線。 ・内面山縁部中位に浅い凹線。 ・全体に厚手。	・天井部上平ヘラケズリ。 ・天井部へらこし後ナデが、頃部付近 へらこし痕残す。 ・内面底部不整方向ナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	・(外)淡褐色 ・(内)灰色	・普通 ・B-27			
	50	杯蓋	12.0		4.2	・天井底部は扁平、天井部と11縁部の境に浅い凹線2条。 ・全体にやや厚手。	・天井部上平ヘラケズリ。 ・天井部はさらニナデ。 ・内面底部不整方向ナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒含む。	・青灰褐色 ・良好	・B-30			
	51	杯蓋	13.2		4.6	・天井部と山縁部の境に浅い凹線1条。 ・内面山縁部下位にごく浅い凹線1条。 ・特に天井部厚手で器底深い。	・天井部上平ヘラケズリ。 ・天井部付近へらこし痕残す。 ・内面底部不整方向のナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	・(外)暗青 ・(内)灰色 ・灰色	・信かねて セット ・外側一部 ・B-26			
	52	杯蓋	12.8		4.4	・天井部と11縁部の境に凹線。 ・特に天井部厚手。	・天井部上平ヘラケズリ。 ・内面天井部上平はヨコナデ後、不整方向ナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	・青灰褐色 ・一部、土 塊により 褐色化	・良好 ・B-65			
	53	杯蓋	13.5		3.9	・天井底部は扁平、天井部と11縁部の境に沈線1条。	・天井部上平ヘラクスリ。 ・内面頂部不整方向ナデ。	・長石、石英、 砂粒隕落。	・淡青灰色 ・青灰色	・B-31			
	54	杯蓋	12.6		4.2	・天井底部は扁平、天井部と11縁部の境に凹線1～2条。 ・内面山縁部下位に脊段。 ・全体に厚手。	・天井部ヘラケズリ。 ・内面頂部凹段ナデ後、不整方向のナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒多く含む。	・褐色 ・B-33				
	55	蓋	8.5	12.8	5.8	10.5	・擴舌から直進に立ちあがり、 ・口縁部は丸くわざめる。 ・頸部大底は中位にあり、 ・底部はほぼ平底。	・胴部下平以下ヘラケズリ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒や多い。	・濃青灰色 ・良好	・胴一部二 直筋、 ・ヘラケズ ・B-35		
	56	蓋	6.2	9.1	6.5	8.0		・底部ヘラケズリ。	・SS1同じ。	・綠灰色 ・良好	・B-29		
	57	高杯	13.5		11.0	11.8	(最大)	・11縁部中位に段をもつ、その直上に1条、下に2条の凹線を残らせる。 ・頸部に三角形透かしを3方向、その底下に凹線を1条。	・杯底部に不整方向ナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	・淡緑灰色 ・良好	・B-23	
	58	高杯	15.8		10.7	9.8		・11縁部はやや外張、11縁	・長石、石英、 (外)灰色	・良好	・B-36		

出上邊構	土器番号	器種	法量(cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎土	色調	焼成保存	取上番号	その他
			口径	胴径	底径	高さ							
							(最大)	部中位に凹線1条。 ・脚部に三角形透かしを2方向。		角閃石、火山ガラスなど含む。	(内)淡緑 灰褐色		
	59	高杯	14.7		11.1	10.2	(最大)	・口縁部中位に凹線1条。 ・脚部に三角形透かしを2方向。	・杯部内面に不整方向ナギ。	長石、石英、角閃石、金雲母など。	淡緑灰褐色	良好	B-34
	60	瓶	11.4	8.6	4.0	13.7		・外溝する口縁下端に1条、腹部中位に2条、体部の肩と中位に各1条の凹線。 ・体部四面間に側突例点文。 ・腹部上半に波状文。	・体部下半以下を丁寧なハラケズリ。	長石、石英、角閃石など特に砂粒が多い。	青灰色	良好	B-69
	61	瓶	10.6	8.3	3.2	12.7		・外溝する口縁下部と腹部中位に各1条の凹線。 ・腹部上半に波状文。 ・体部上位に側突例点文。	・体部中位以下を丁寧なハラケズリ。	長石、石英、角閃石など砂粒、微粉多く含む。	淡緑灰褐色	やや 良好	B-37
	62	提瓶	11.1		17.5		21.8	・外反する口縁と口縁部。 ・体部肩にV字形突起を一対。	・体部表面裏とも丁寧なカキメ調整。	長石、石英、角閃石など。	灰色-緑 灰褐色	良好	B-68
	63	甕	(48.2)(35.6)					・径の大きい有段口縁と、やや長めの頸部をもつ。頸部外面2ヶ所に2条ずつの凹線、その腰及び上部に波状文を施す。 ・腹部下部はかなりいびつ。	・側部外面は平行タキシ、側部内面は青苔波文タキシ。	長石、石英、角閃石など砂粒、微粉含む。	濃青灰褐色	良好	外縁一部に自然釉 B-5他
C-1分 横穴墓	64	杯身	(12.6)			(4.4)		・立ち上がりは内済し、端部は丸く、受部は短い。 ・内面体部上端に沈線状凹み。 ・底部は厚手。	・外面部へラケズリ。 ・内面体部下半以下、不整方向ナギ。	長石、石英など微粉少量含む。	(外)墨青 灰褐色	良好	約1/3残存 C-8
	65	杯身	13.0			3.9		・立ち上がりは短く内済し、受部も外上方へぐく短い。 ・内面体部上位に有段。 ・底部は厚手。	・外面部へラオコシのまま。 ・内面体部下半不整方向ナギ。	長石、角閃石など微粉粒多く含む。	濃青灰褐色 外面部により褐色化	良好	68とセツト C-106
	66	杯身	10.6			4.2		・立ち上がりはごく短く、受部も外上方へ短い。 ・内面体部上端に浅い凹。 ・全体に厚手。	・外面部へラオコシのまま。 ・内面体部下半不整方向ナギ。	長石、石英など微粉少量含む。	青灰色 外面部により褐色化	良好	69とセツト C-32
	67	杯蓋	(13.6)					・天井部と口縁部の境に凹線2条。	・外面部天井部上半へラケズリ。	長石微粉少 量	濃青灰褐色	良好	C-6
	68	杯蓋	12.0			4.3		・天井部と口縁部の境不明瞭。	・外面部天井部へラケズリ。	各種微粉多 く含む。	灰色	C-107 良好	
	69	杯蓋	12.1			4.7		・天井部と口縁部の境不明瞭。	・内面天井部不整ナギ。 ・外面部天井部へラオコシ。	各種砂粒、微粉粒含む。	青灰色 褐色化	良好	C-34
	70	高杯	8.6		7.1	8.7		・口縁部に浅い凹線を3条。 ・脚部3方向に長い切り目。	・杯部内面不整方向ナギ。 ・脚部内面に絞り痕。	長石の砂粒 顯著。	灰色	良好	C-32
	71	平瓶	6.8	15.4	5.8	15.8		・口縁部と体部の縫がやや込み、肩がはり、基大は体部上位にある。 ・底部は出ぼ平底。	・体部下位以下は丁寧なハラケズリ。	長石、石英、角閃石など砂粒、微粉粒含む。	灰色	良好	肩部と内面部に自然釉 C-30
	72	平瓶	12.6	31.5		32.4		・体部最大径は中位にあり。	・体部肩の内面に成形時	長石、石英、(外)墨青	灰色	良好	外縁一部

出土遺構	土器 番号	器種	法 量(cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	機 械 保 存	取上番号 そ の 他	
			口徑	胴径	底径	高さ							
							底部はやいびつな丸底。	孔の痕跡。 ・口縁部内面に接合痕。 ・外面底部下平は落丁文 タタキ、体部内面は青 濁波文タタキで調整。	角閃石など 微砂粒含む。	色・緑灰 色 ・(内) 淡灰 色	・自然釉	=C-22	
C-3号 横穴墓	73	杯身	10.9			3.6	立ち上がりは内傾し、端部 は丸い。 ・内面体部上端に浅い沈窓状 凹み。	・外面底部へラケズリ。 ・内面底部不整方向ナデ。	・長石、石英、 角閃石など 微砂粒含む。	・(外) 青灰 色・淡青 色、内 部青灰色	・良好	・外面に自 然釉。	
	74	杯身	10.6			3.8	立ち上がりは内傾し、端部 は丸い。 ・全体に厚手。	・外面底部へラケズリ。 ・内面底部不整方向ナデ。	・各種砂粒、 微砂粒含む。	・(外) 青灰 色 ・(内) 黄灰 色	・良好	=77とセツ ト	
	75	杯身	11.6			4.3	立ち上がりはやや内傾、端部 は丸く、受部は短い。 ・全体に厚手。	・体部下半以下をへラケ ズリ。 ・内面体部下半以下を不 整方向のナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	・(外) 黄灰 色 ・(内) 青灰 色	・良好	・外面一部 に自然釉	
	76	杯蓋	12.5			3.4	・犬脊部と口縁部の境に凹線 を2条。 ・口縁部内面下位に有段。	・外面天井部上半をヘラ ケズリ。 ・内面天井部上半を不整 方向ナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	・(外) 淡青 色 ・(内) 青灰 色	・良好	=C-86	
	77	杯蓋	11.8			4.3	・犬脊部と口縁部の境あいま いで、ごく浅い凹線1条。 ・口縁部内面下位に有段。	・外面天井部をへラケ ズリ。 ・内面天井部を不整方向 ナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	・(外) 青灰 色、(内) 淡青灰色	・良好	=C-85	
	78	杯蓋	12.1			4.6	・犬脊部と口縁部の境不明瞭。 ・外面天井部上半をヘラ ケズリ。 ・内面天井部を不整方 向ナデ。	・各種砂粒、 底凸粒多く 含む。	・青灰色	・やや 良好		=C-82	
	79	蓋	10.1	12.3	6.3	13.5		・胴部下位以下を丁寧な ヘラケズリ。	・長石、石英、 粘土質断面。	・青灰色	・良好		=C-88
	80	瓶軸	8.1	15.5		21.9	・なべ口に把手に対。口縁部 への立ち上がりも屈曲強く なくだらか。	・体部丁寧なカキマヨ調整 のあと裏面に輪に平行 タタキ。	・長石、石英、 粘土質 の砂粒断面。	・淡青灰色 ・表面一部 土壤によ る褐色化	・良好		=C-89
C-4号 横穴墓	81	杯身	10.8			4.2	立ち上がりは内傾し、端部 は丸く、受部は短い。 ・内面体部と口縁部の境が有 段化。	・外面体部下半以下ヘラ ケズリだが、底部中央 はヘラわこしのまま。 ・内面底部不整方向ナデ。	・長石、石英、 粘土質断面。 ・(内) 淡灰 色	・(外) 青灰 色 ・(内) 淡灰 色	・良好	・外面自然 釉。	=C-121
	82	杯身	10.9			4.2	立ち上がりは内傾、端部は 丸い。 ・内面体部上端に沈窓状凹み。	・外面体部下半以下ヘラ ケズリ。 ・内面底部不整方向ナデ。	・長石、石英、 角閃石など 含む。	・青灰色	・良好	・外面自然 釉。	=C-122
	83	杯身	10.7			4.0	立ち上がりは内傾、端部に やや曲をもち、受部は短い。 ・全体にやや厚手。	・体部下半ヘラケズリ。 ・底部中央付近は柔軟調整。 ・内面底部不整方向ナデ。	・各種砂粒、 微砂粒含む。 ・(外) 黑灰 色 ・(内) 黄色	・良好	・外面自然 釉。	=C-203	
	84	杯身	10.2			4.4	・内面体部と口縁部の境に沈 窓状の凹み。 ・全体に厚手。	・体部下半ヘラケズリ。 ・底部は柔軟調整。 ・内面底部不整方向ナデ。	・各種砂粒、 底凸粒少 含む。	・青灰色	・良好		=C-119
	85	杯身	11.2			3.8	立ち上がりは内傾、端部は	・外面体部下半以下ヘラ	・長石、石英、 粘土質断面。	・暗青灰色	・良好	・外面一部	

出土遺構 番号	土器 番号	器種	法 器 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上面積 その他の 特徴
			口径	胴径	底径	器高						
							丸い。 ・受部は外上方へ厚手。	ケズリだが、底部中央付近にハラおこし痕がある。 ・内面底部不整方向ナデ。	角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。			自然 C-163
85	移身	11.4		4.6			立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部は短い。 ・体部下部以下は厚手。	・体部下半はハラケズリ。 ・内面底部不整方向ナデ。	各種砂粒。 微砂粒含む。	(外) 淡灰 色 (内) 灰色	良好 C-205	外面一部 に自然物
87	移身	10.8		4.2			立ち上がりは途中で傾曲し、底直に伸び、端部は丸い。 ・底部はやや厚手。	・外面部底部ハラケズリだが、中央付近は未調整。 ・内面底部不整方向ナデ。	長石、石英 の砂粒含む。	暗灰色 良好	外面一部 に自然物 C-202	
88	移身	10.4		4.2			立ち上がりは内傾、端部は丸い。 ・内面体部上端をへら状工具のねじえで洗練化。	・外面底部下部以下ハラケズリ。 ・内面底部不整方向ナデ。	長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	青灰色 良好	C-128	
89	移身	10.0		3.5			立ち上がりは内傾、端部にやや膨らみ。 ・内面底部不整方向ナデ。	・外面底部ハラケズリ。 ・内面底部不整方向ナデ。	各種砂粒。 砂粒含む。	青灰色 良好	C-125	
90	移身	10.9		3.7			立ち上がりはやや短く内傾し、端部は丸い。 ・全体にやや厚手。	・外面底部ハラケズリ。 ・内面底部不整方向ナデ。	長石、石英、 砂粒がやや立つ。 ・内面底部不整方向ナデ。	(外) 青灰 色 (内) 黄灰 色	良好 ヘラ記号 94とセブ ト 自然物 C-165	
91	移身	10.6		4.0			立ち上がりは短く内傾し、端部は尖る。 ・受部は外上方へ短く外凸。	・外面底部ハラケズリ。 ・内面底部不整方向ナデ。	各種砂粒。 砂粒含む。	淡青灰色 良好	C-125	
92	無底	14.3	11.2	21.0			三角形透かしを2方向。 ・口縁部下端と脚部透かし下に洗練を各1条。	・杯底部内面不整方向ナデ 他は回転ナデ。	長石、石英 の砂粒含む。	(外) 灰色 (内) 青灰色	良好 C-118	
93	高杯	(14.4)							各種砂粒、 砂粒含む。	濃青灰色 良好	約1/4残存 C-123	
94	杯蓋	12.9		4.3			口縁部と天井部の境に上下2条の深い沈線。 ・口縁部下端と脚部透かし下に洗練を各1条。	・外面天井部頂部ハラコ ・後ナデ調整。 ・内面天井部底不整方向 のナデ。	各種微砂粒。 赤色化粧。 ・一部土壤による 火山ガラス化。	濃灰色 良好 天井部に ビダスト C-166		
95	杯蓋	(11.4)					天井部と口縁部の境に浅い 沈線1条。		各種砂粒。 砂粒含む。	青灰色 良好	約1/4残存 C-124	
96	杯蓋	12.1		4.1			天井部と口縁部の境に沈線1条。	・外面天井部上半ハラケ ズリ。 ・内面天井部不整方向 のナデ。	長石、石英 の砂粒含む。	暗灰色 良好	C-154	
97	提瓶	8.3	15.1	23.2			口縁部中央に沈線1条、その上に浮文4個はりつけ。 ・肩に円形浮文1対。	・体部表面はハラケズリ。 ・後ナデ、体部裏面はハラケズリのまま。	長石砂粒や や目立つ。 黒灰色	暗灰色 良好	C-137	
98	提瓶	9.2	19.0	24.5			肩に把手1対。 ・体部下位はいびつ。	・体部ナデ調整後、やや 體にカキメ調整。	各種砂粒。 砂粒含む。	赤灰色 黒灰色	不良 C-136	
99		(12.0)								灰色	約1/4残存 C-120	
100	甕	15.6					底部はいびつな丸底。	・底部外側タタキの後カ キメ調整。	長石、石英、 角閃石など	青灰色 良好	底床と前 輪郭形状	

出土遺物	土器 番号	器種	法 量(cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 その他の 記述
			口径	胴徑	底径	高さ						
C-5号 横穴墓	101	甕	20.2	42.0			*最大径は腹部中央。 *天井部と口縁部の境に浅縫合2条。	*側部外縫タキの後、横方向のカキノ調整。 *側面内面青波淡文タキ。	砂粒、微砂粒含む。	灰褐色	不食	C-130 ・鍵床 C-144
	102	杯蓋	13.0				*天井部中央以上へタケズリ。	*各種砂粒。 *微砂粒含む。	灰褐色	良好	鈎錠存 C-357	
	103	甕					*外縫、格子状タキ。 *内縫は青波淡文タキ。	*各種砂粒。	灰色	良好	C-264	
C-6号 横穴墓	104	杯	13.8	6.5	4.2		*外底部開拓面切り。 *内底部水しき痕。	*各種砂粒含む。 *底面	淡褐色	やや 不食	C-263	
	105	杯身	10.8			4.3	*立ち上がりは内窓し、端部 は丸い。 *内面部と口縁部の境に浅 縫合跡み。	*外縫体部下以下トヘラ ケズリだが、底面にヘ タコニ時の痕跡。 *内底部不整方向ナギ。	各種砂粒。 *外縫 *山ガラスなど *底面	青灰 灰色	良好	C-157
	106	杯身	10.5			3.9	*立ち上がりは内窓し、端部 は丸い。 *内面部と口縁部の境に浅 縫合跡み。	*外縫体部下以下トヘラ ケズリ。	各種砂粒、 *微砂粒含む。	灰色	やや 良好	外縫 C-159
C-7号 横穴墓	107	杯身	10.4			3.5	*立ち上がりはやや短く内窓し、 端部は丸い。 *内面部と口縁部の境に浅 縫合跡み。	*外縫体部下以下トヘラ ケズリ。 *内縫体部下以下トヘラ ケズリ。	各種砂粒、 *微砂粒含む。	淡褐色	良好	112とセ C-189
	108	杯身	10.6			3.6	*立ち上がりは内窓し、端部 はやや丸をもつ。 *底部は折り返し残る。 *全体に厚手。	*外縫体部下以下トヘラ ケズリ。 *内縫体部下以下トヘラ ケズリ。	各種砂粒、 *微砂粒含む。	褐色	良好	113とセ C-190
	109	杯身	10.6			3.7	*立ち上がりは内窓し、端部 は丸い。 *内面部と口縁部の境に浅 縫合跡み。	*外縫体部ヘラケズリた が、ほとんど未調整。 *内底部不整方向ナギ。	各種砂粒、 *微砂粒含む。	褐色	良好	外縫 C-161
C-8号 横穴墓	110	杯身	10.8			3.9	*立ち上がりは内窓し、端部 は丸い。 *内面部と口縁部の境に浅 縫合跡み。	*外縫体部下以下トヘラ ケズリ。 *内縫体部下以下トヘラ ケズリ。	各種砂粒、 *微砂粒含む。	褐色	良好	114とセ C-188
	111	杯身	10.0			3.7	*立ち上がりは極端に低い。 *全体に厚手。	*外縫体部ヘラおこし後 未調整。 *内縫体部下以下トヘラ ケズリ。 *右下りのナギ調整。	良石、石英、 *角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	淡褐色	やや 良好	C-153
	112	杯蓋	12.5			3.6	*天井部と口縁部の境にあま い縫をもつ。	*外縫天井部中央以上ヘ タケズリ。 *内縫天井部心臓方向の ナギ。	各種砂粒、 *微砂粒含む。	褐色	良好	C-13
C-9号 横穴墓	113	杯蓋	12.7			3.8	*天井部と口縁部の境にごく 浅い洗縫1条。 *内縫口縁部下以下有段。	*外縫天井部中央以上ヘ タケズリ。 *内縫天井部不整方向の ナギ。	角閃石多い。 *暗褐色	良好	C-160	

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 その他の 記述	
			口径	胴径	底径	器高							
	114	杯蓋	13.1			3.9	・天井部と口縁部の境に沈線1条。 ・内面口縁部下位に沈線1条。	・外面天井部上位へラケ ズリ。 ・内面天井部不整方向の ナデ。	・各種砂粒、 陶粒(粒含む)。	・緑灰色	・やや 良好	・C-191	
	115	台付 鉢蓋	6.5			4.9	・宝珠つまみは形状がやや弛 緩。 ・内面天井部とかよりの境に 沈線状の凹み。	・外面天井部上半へラケ ズリ。	・各種砂粒、 陶粒(粒含む)。	・灰白色 ・濃灰色	・良好 ・自然釉	・C-154	
	116	台付 鉢	7.9	8.9	8.2	9.0	・体部外面にヘラ状工具で二 重一三重の刺突文。 ・鉢底部外面にヘラ状工具で 三重～五重の刺突文。 ・脚台部に三角形透かしを2 方向。	・鉢底部内面は不整方向 ナデ、それ以外は同軸 ナデ。 ・脚台部に三角形透かしを2 方向。	・各種砂粒、 陶粒(角 閃石や多 い)を含む。	・灰白色	・良好	・外面一部 に自然釉 ・115とセ ット	・C-141
	117	杯	(14.0)			4.5			・各種砂粒、 陶粒、赤 色磁化粒多 く含む。	・淡黃褐色	・不良	・土師器 ・約4%残存 ・C-23	
	118	杯	14.8			4.4		・底部に同軸糸切り痕。	・各種砂粒、 陶粒、赤 色磁化粒含 む。	・淡黃褐色	・不良	・土師器 ・C-25	
	119	盤	(22.0)				・短く外反する有段口縁から 追走して幅広にはった質に 毛る。脚部最大径は上位に あるものと思われ、底部は いびつな丸底。	・脚部外面は縱方向の平 行タキ。 ・脚部内面は青釉波文タ キ。	・長石、石英、 角閃石など 各種砂粒含 む。	・淡灰色 ・青灰色	・良好	・外面一部 に自然釉 ・C-143 ・雄(1)	
	120	横瓶						・外面は平行タキ後、 難にカキメ。 ・内面は青釉波文タキ。	・長石、石英 など微砂粒 含む。	・淡黃褐色	・良好	・C-16	
C-7号 横穴墓	121	杯身	10.6			4.2	・体部と受部の境に浅い沈線。 ・内面体部と口縁部の境は有 段化。	・外面底部下位以下へラ ケズリ。 ・内面底部不整方向ナデ。	・各種微砂粒、 砂粒、火山 ガラス含む。	・(外) 濃青 色、(内) 青灰色	・良好	・C-111	
	122	杯身	10.4			4.4	・立ち上がりは内側し、端部 は丸い。	・外面体部中位以下へラ ケズリ。 ・内面底部不整方向ナデ。	・各種砂粒、 陶粒など 少し含む。	・(外) 青灰 色、(内) 青灰色	・良好 ・自然釉 ・C-114	・143とセ ットか	
	123	杯身	10.8			4.1	・内面体部と口縁部の境に沈 線状凹み。 ・全体にやや厚手。	・外面体部下位以下へラ ケズリ。 ・内面底部不整方向ナデ。	・各種微砂粒 (石英多い) 色を含む。 ・(内) 濃青 色	・(外) 黄灰 色 ・(内) 濃青 色	・良好	・C-142とセ ットか	
	124	杯身	10.4			4.4	・立ち上がりは内側し、端部 は丸い。 ・内面体部と口縁部の境に浅 い沈線状凹み。	・外面体部下半以下へラ ケズリだが、底部中央 付近に板目模様。 ・内面底部不整方向ナデ。	・各種微砂粒 少量含む。 ・(内) 青灰 色	・(外) 濃青 色 ・(内) 青灰 色	・良好	・138とセ ット	
	125	杯身	11.2			4.4	・立ち上がりはやや近く内側 し端部は丸い。 ・内面体部と口縁部の境に浅 い沈線状の 凹み。	・外面体部中位以下へラ ケズリ後、軽くナデ。 ・内面底部不整方向ナデ。	・長石、石英 砂粒の他、 各種微砂粒 含む。	・(外) 灰色 ・(内) 黑灰 色	・良好	・137とセ ットか	
												・C-284	

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)			形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	側径	底径						
	126	杯身	9.8		3.6	・立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部は長い。 ・内面体部と口縁部の境が有致化。	・外面体部下半以下へラケズり。 ・内面体部下手以下、不整方向ナデ。	・各種微粒粒。 砂粒少し含む。	・青灰色～灰褐色 ・暗灰色	・良好	・C-289
	127	杯身	10.3		3.9	・立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部はごく厚手。	・外面体部下半以下へラケズり。	・長石の砂粒。 微砂粒顕著	・青灰色～ 青灰色	・良好	・145とセ ットか ・C-299
	128	杯身	10.3		4.0	・立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部は短い。	・外面体部下半以下へラケズりだが、底部にハラコシ痕が残る。 ・内面底部不整方向ナデ。	・各種砂粒。 微砂粒少し含む。 (外) 淡青 (内) 灰色	・良好	・C-353	
	129	杯身	(10.8)		3.8	・立ち上がりは内溝、端部は丸い。	・外面体部下半以下へラケズり。	・各種微粒粒。 砂粒、火炎 ガラス含む。	・青灰色 ・淡灰色	・良好	・約15種存 ・C-354
	130	杯身	(11.4)		4.2	・立ち上がりは内傾、端部は丸い。 ・底部は厚手。	・外面体部下半以下へラケズり。 ・内面底部不整方向ナデ。	・各種微粒粒。 火山ガラス 少し含む。	・淡灰色～ 黄褐色	・良好	・約15種存 ・C-4
	131	杯身	(11.4)			・立ち上がりは内傾し、端部はやや面をもつ。		・各種微粒粒。 少し含む。	・緑灰色	・良好	・約15種存 ・C-354
	132	杯身	(11.6)		(4.6)	・体部と受部の境は軽く細面。 ・内面体部と口縁部の境にごく深い沈線状凹み。	・外面体部下半以下へラケズり。	・各種微粒粒。 大山ガラス 少し含む。	・青灰色	・良好	・約15種存 ・C-113 後
	133	杯身	11.4		4.4	・立ち上がりは断面三角形でやや短く、端部は丸い。 ・丸底で不安定。	・外面部はハラコシ。 ・内面底部不整方向ナデ。	・各種微粒粒。 大山ガラス 少し含む。	・青灰色	・良好	・一部自然 物。 ・C-227
	134	杯身	10.8		4.1	・立ち上がりは断面三角形で短い。	・外面体部下半以下へラケズりだが、底部はほとんどへラコシ後未調整。 ・体部内面は幅6mm程の指またはハラ状工具による不整方向ナデ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒、火炎 ガラスや多 く含む。	・暗灰色	・普通	・144とセ ット ・C-228
	135	杯身	10.0		4.1	・立ち上がりはかなり内傾し、短い。	・外面部ハラコシ。 ・内面底部不整方向ナデ。	・長石の砂粒。 微砂粒やや 顯著。	・灰色		・146とセ ット。 ・外面部 に自然物 ・C-255
	136	杯身	11.0		4.0	・立ち上がりは短く内傾。	・磨拭で不明瞭。	・各種微粒粒。 多く含む。	・(外) 淡灰 色 ・(内) 灰色	・やや ・ヘラ片 ・外面部 に自然物 ・C-288	
	137	杯蓋	12.8		4.5	・口縁部と天井部の境に下2条の沈線。	・外面天井頂部へラケズ り。 ・内面天井頂部不整方向 のナデ。	・長石、石英 の砂粒やや 顯著。	・暗灰色	・良好	・外面部 に自然物 ・C-282
	138	杯蓋	12.4		4.4	・口縁部と天井部の境に沈線 1条。 ・内面口縁部下位(2)沈線1条。	・外面天井部中位以上へ ラケズり。 ・内面天井頂部不整方向	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒。(外) 灰色 (内) 淡灰	・良好	・C-283	

出土遺構	土器 番号	器種	寸 法 概 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	被或 保存	取上番号 その他の 記入
			口径	胸径	底径	器高						
								のナデ。	粒多く含む	色		
	139	杯蓋	13.2			4.8	・口縁部と天井部の縁に上下2条の沈線。 ・内面口縁部下位が浅く有段化。	・外腹天井部中位へラク ズリ。	・各種砂粒、 微砂粒含む。	・青灰色	・良材	=C-285
	140	杯蓋	12.5			4.1	・口縁部と天井部の縁に上下2条の浅い沈線。 ・内面口縁部下位が有段化。	・外腹天井部中位へラク ズリだが、頸部はヘラ おこし後未調整。 ・内面天井部不整方向の ナデ。	・長石、石英 の砂粒混入。	・明灰色	・良好	=C-286
	141	杯蓋	11.9			4.1	・口縁部と天井部の縁に沈線 を1条。 ・内面口縁部下位が浅く有段化。	・外腹天井部中位以上へ ラケズリだが、頸部中 央附近にヘラおこし模。 ・内面天井部不整方向の ナデ。	・長石、石英 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	・(外)紫灰 色	・良好	=C-281
	142	杯蓋	12.1			4.4	・口縁部と天井部の縁に沈線 を1条。 ・内面口縁部下位に浅い右段。 ・内面口縁部下位に深い右段。	・外腹天井部中位以上へ ラケズリ。 ・内面天井部不整方向ナデ。	・各種砂粒、 微砂粒少し 含む。	・青灰色	・良好	=C-355
	143	杯蓋	12.9			3.7	・口縁部と天井部の縁や不 明瞭。 ・天井部は扁平。	・外腹天井部中位以上へ ラケズリ。 ・内面頸部不整方向ナデ。	・長石の砂粒、 微砂粒混入。	・灰褐色	・良好	=C-112
	144	杯蓋	11.9			4.7	・口縁部と天井部の縁不明瞭。 ・天井部は丸く深い。	・外腹天井部中位へラク ズリだが、頸部はヘラ おこしのまま未調整。 ・内面天井部の調整方法 は133と同じ。	・各種砂粒、 微砂粒、火 山ガラス含 む。	・(外)緑灰 色	・やや 良好	=C-229
	145	杯蓋	12.3			4.1	・口縁部と天井部の縁不明瞭。 ・天井部は丸く深い。	・外腹天井部上半へラ おこし後、ナデ調整。 ・内面天井部不整方向ナ デ。	・各種微砂粒 砂粒、火山 ガラス含む。	・青灰色	・良好	=C-230
	146	杯蓋	12.3			4.9	・口縁部と天井部の縁にごく あまい凹凸状凹み。	・外腹天井部上半へラ おこしのまま。 ・内面天井部不整方向の ナデ。	・各種砂粒、 微砂粒、火 山ガラス含 む。	・明灰色	・良好	=C-254
	147	杯蓋	11.9			4.8	・口縁部と天井部の縁不明瞭。 ・天井部は丸く深い。	・外腹天井部へラおこ しのまま。 ・内面天井部不整方向ナ デ後、幅5mmのへら状 工具で擦にナデ調整。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	・(外)浅綠 色	・良好	=C-291
	148	短頸 壺	5.5	12.0	4.0	8.6	・頸は近く内傾し、質がはり 胴大底は上位弓の所にある。 ・平底。	・外腹底部以下へラ ケズリ。	・各種砂粒、 微砂粒含む。	・暗灰色— 深灰色	・良好	・質に自然 軸。 =C-236
	149	壺	11.7	9.7	4.6	13.5	・体部中位にハケ状工具で削 突剝立点。 ・口縁部下端に1条、頸部中 位に2条、体部削突剝立点の 上下に各1条の沈線文。 ・頭部沈線と口縁部の間に、 ハケ状工具で波状文。	・体部次縁より下をヘラ ケズリ。	・長石、石英、 角閃石など 微砂粒、火 山ガラス含 む。	・黄褐色	・良好	=C-108
	150	提瓶	8.7	16.4		23.0	・体部肩に一時の円形浮文。	・体部裏面を芯に粘土を 巻き上げ、最後に表面	・長石、石英、 角閃石など	・深灰色— 深灰色	・良好	=C-287

出土遺構	土器 番号	器種	法 量(cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎・土	色・調	焼成 保存	取上番号	その 他	
			L1径	幅径	底径	器高								
C-8号 横六轍	151	杯身	10.5				4.4	~内面底部と口縁部の境に有 段。	中央を円盤状の粘土で 埋めてある。 ~表面はナデ。底面はヘ ケズリ調整。	砂粒、微砂 粒含む。	灰褐色	良好	155とセ ットか。 ~外側自然 釉。 ~C-252	
	152	杯身	10.8				4.0	~内面底部と口縁部の境に有 段。	~外側底部下以下ヘラ ケズリだが、板目捲曲 が残る。 ~内面底部不整方向ナデ。	長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒、火山ガ ラス含む。	(外)濃青 灰色(内) 暗灰色 ~外側一部 土壤によ る褐色化	良好	C-317	
	153	杯身	10.4				4.1	立ち上がりは内傾、端部は やや圓をもつ。	~外側底部下位以下に丁 寧なヘラケズリだが、 底部中央付近はヘラむ こしのまま。 ~内面底部不整方向ナデ。	長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	濃青灰褐色	良好	C-251	
	154	杯身	11.2				4.3	立ち上がりはやや短く、端 部はややとがり質味。	~外側底部ヘラケズリ。 ~内面底部不整方向ナデ。	各種微砂粒 砂粒含む。	明灰褐色 ~底部上端 による褐 色化。	良好	156とセ ットか。 ~外側自然 釉。 ~C-318	
	155	杯蓋	12.7				4.2	~口縁部と天井部の境に上 下2条の沈線。	~外側天井部へラカニ し後トテ調整。 ~内面天井部不整方向 のナデ。	長石の光粒、 飛砂粒や 顯著。	青灰色 ~外側土壤 による褐 色化。	良好	~ヘラ記入 ~C-243	
	156	杯蓋	13.4				4.3	~口縁部と天井部の境不明瞭。 ~内面口縁部下位に浅い段。	~外側天井部ヘラケズリ。 ~内面天井部不整方向の ナデ。	長石の光粒、 飛砂粒や 顯著。	(外)濃青 灰色(内) 暗茶色 ~外側土壤 による褐 色化。	良好	C-316	
	157	高杯	15.7		12.8	10.8		~脚部の2方向に三角形透か し。 ~口縁部と脚部の境不明瞭。	~脚部内面不整方向のナ デ。 ~脚部下部ヘラケズリ。	各種微砂粒、 砂粒、赤色 酸化粒、火 山ガラス含 む。	濃青灰褐色	やや 不良	~C-241	
	158	有蓋 高杯	13.0					~脚部の3方向に三角形透か し。 ~立ち上がりは短く、端部は 丸い。	~脚部下部ヘラケズリだ が、脚部整着後ナデ調 整。	長石の光粒、 飛砂粒や 顯著。	(外)濃青 灰色 (内)濃青 灰色	良好	C-247	
	159	高杯	8.9		5.6	11.7		~L1部中位に2条、下端に 1条、杯部に1条、脚部中 位に2条の浅い沈線。 ~杯部沈線の上方にハケ状工	~脚部内面不整方向のナ デ。	長石、石英、 角閃石など 飛砂粒、赤 色酸化粒含 む。	淡茶灰褐色 ~灰褐色	良好	C-244	

出土遺物	土器 番号	基種	法 量(cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 その他の 記入
			口径	胴径	底径	器高						
							具で刺突列点文。 ・脚部沈線の上方に3方向の 切り込み、下方に3方向の 三角形透かし。 ・脚部と口縁部の境に有段化。		む。			
	160	鍵	10.1	8.3	4.1	13.7	・口縁部下端に1条、腹部中 位1条、体部肩と中位に各 1条の沈線。 ・腹部は細くくびれ、ラッパ 状に開く。	・体部中位の沈線以下を ハラケズリ。	・各種砂粒、 微砂粒やや 多く含む。	・黒灰色	・良好	・C-237
	161	高杯	11.4		9.1	9.9		・脚部に脚部をはじめ込み。 ・杯部～口縁部外面は、 縦方向ハケ目、脚部外 面は縦方向ナメの後へ ク焼き（剥落のため不 明瞭）。 ・杯部内面の調整不明、 脚部内面はハラオキえ。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒、赤色酸 化粒、火山 ガラス多く 含む。	・褐色	・不良	・土開闢 +C-242
	162	高杯	17.8			10.5	12.4	・脚部に脚部をはじめ込み。 ・杯部～口縁部外面はナ メ後縦方向ハケ目、脚 部は縦方向ナメの後脚 柱は縦方向ハケ目、脚 台は横方向へラ磨き（ 磨成、剥落で不明瞭）。 ・杯部内面はナメ調整。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒、赤色酸 化粒、火山 ガラス含む。	・褐色	・やや 不良	・土開闢 +C-239
	163	斐	43.9	68.5		97.4	・口頭部は甚だ大きく外反し、 右段口縁を形成。なで肩で 弱もあり強らない。丸足。 ・頸部3カ所に計5条の凹彫 その間にハケ状工具で8～ 9条の成状文。	・胴部外面は格子目タタ キ、内面は青混或文タ タキ、底部外面にはさ らにカキメを造らせる。 ・頸部内面に板状工具に よるおさえ痕が3列。	・長石、石英、 角閃石など 砂粒含む。	・暗灰色～ 暗紫灰色	・良好	・床床と前 庭部埋土 中出土 +C-138 他
C-5、 8号横穴 墓	164	提取	(15.0)	(25.0)			・体部は張りがありほぼ蝶形 ・体部肩に把手一对。 ・口縁部を形成。	・体部外面平打タタキの 後、下半分に複数カキ メ。内面は円弧文タタ キ。	・各種砂粒、 微砂粒含む。	・灰褐色	・約15残存 ・註② +C-158	
C-6、7、 8号横穴 墓	165	横瓶	(14.4)	(50.0)		(36.0)	・口縁部の内面に円盤 状粘土の充てん痕あり。 ・体部外面は格子目タタ キの後、複数カキメを 造らせ、内面は円弧文 タタキ。	・各種砂粒、 微砂粒含む。	・淡灰色	・良好	・約14残存 ・註③ +C-178	
B区頂部 不明遺構	166	斐					・口縁部を形成。 ・器壁は厚手。	・口縁部内外横ナメ。	・各種砂粒、 微砂粒含む。	・褐色	・普通	・劣生土質 ・約14残存 +B-22
	167	杯身					・内面部と口縁部の境にや や段をもつ。 ・受部は水平方向に長い。		・各種砂粒、 微砂粒含む。	・灰褐色	・良好	・約14残存 +B-13

出土遺構	土器 番号	器種	法 量(cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号	その 他	
			口徑	胴径	底径	高さ								
	168	杯?								・各種砂粒、 陶土含む。	・淡黄褐色	・良好	・上部基 盤残存	・B-11
	169	杯			6.6			・底部は回転系切り。 ・底部内面は不整方向の ナギ。	・各種砂粒、 陶土含む。	・淡黄褐色	・良好	・土師器	・約半残存	・B-16
	170	壺		14.9	12.5		・胴部最大径は下部などの高 さにある。 ・高台つき。	・高台表面に指おき痕、 陶土含む。	・各種砂粒、 陶土含む。	・灰褐色	・良好	・胴部に白 斑點。	・B-45	

註1. C-6号横穴墓のブラック・バンド中、C-7号横穴墓のブラック・バンド中より細片として出土したものを復元。

註2. C-5号横穴墓のブラック・バンド中、C-8号横穴墓のブラック・バンド中および1層直上、前庭床面直上より細片として出土したも  
のを復元。

註3. C-6号横穴墓のブラック・バンド中、C-7号横穴墓のブラック・バンド中、C-8号横穴墓の表土中より細片として出土したもの  
を復元。

# 鉄器観察表

出土清査	造物	取上番号	種類	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	形態上の特徴	備考
A-2号 横穴墓	171	A-50	刀子	8.7cm	1.2	0.3	刀身長3.4cm以上。細身のつくり。間は不均等両開。茎側部は中細、茎尻は一字文字尻。	茎部に木質が僅かに残る。
	172	A-51	刀子	8.7cm	1.2	0.3	刀身長3.4cm以上。先端部を欠く。間は均等両開。茎側部は直。茎尻は一字文字尻。	茎部に木質が僅かに残る。
	173	A-64	刀子	10.4	1.7	0.4	刀身長5.0cm。先端部を欠き、やや弯曲する。間は不均等両開か。茎側部は細、茎尻は厚尻。	茎部に木質が残る。
	174	A-58	鐵	13.7	3.9	0.3	鐵身長5.0cm。平両刃、棒葉式。間は大きく開き、頭部断面方形を呈す。	
	175	A-63	鐵	9.6cm	1.9	0.3	鐵身長3.3cm以上。尾被部4.8cmを測る。曲丸刃、長頭尾被柳葉式。間にはさない。やや広がる開尾被を有す。	
	176	A-56	鐵	14.5cm	1.0	0.3	鐵身長1.1cm。尾被部6.6cm、茎部6.8cmを測る。平両刃、三角形抜跡長頭尾被式。開尾被を有す。	
	177	A-52	鐵	13.0cm	1.1	0.2	鐵身長2.9cm以上。尾被部6.2cm、茎部3.9cmを測る。平両刃、長頭尾被柳葉式か。やや広がる開尾被を有す。	茎部に木質が残る。
	178	A-71	鐵	12.5	1.0	0.3	鐵身長3.1cm。尾被部7.2cm、茎部2.2cmを測る。平両刃、長頭尾被柳葉式。棘尾被を有す。	
	179	A-66	鐵	11.6cm	1.1	0.2	鐵身長2.9cm。尾被部8.7cmを測る。茎部を欠く。平両刃、長頭尾被柳葉式。やや広がる開尾被を有す。	
	180	A-53	鐵	11.1cm	0.9	0.2	鐵身長2.3cm。尾被部6.7cm、茎部2.1cm以上を測る。曲丸刃、長頭尾被柳葉式。棘尾被を有す。	茎部に木質残る。
	181	A-61	鐵	12.8	0.9	0.3	鐵身長2.1cm。尾被部6.7cm、茎部4.0cmを測る。平両刃、三角形抜跡長頭尾被式。棘尾被を有す。	本製の矢柄に樹皮を巻いて装着。
	182	A-60	鐵	14.3	1.0	0.2	鐵身長2.0cm。尾被部7.5cm、茎部4.8cmを測る。平両刃、三角形抜跡長頭尾被式。棘尾被を有す。	
	183	A-62	鐵	13.8	0.9	0.3	鐵身長2.7cm。尾被部7.8cm、茎部3.3cmを測る。平両刃、長頭尾被柳葉式。間にはさない。棘尾被を有す。	茎部に木質が残る。
	184	A-65	鐵	17.0	0.9	0.3	鐵身長2.8cm。尾被部9.5cm、茎部4.7cmを測る。平両刃、長頭尾被柳葉式。棘尾被を有す。	
	185	A-69	鐵	17.0	0.9	0.3	鐵身長2.3cm。尾被部9.6cm、茎部5.1cmを測る。平両刃、長頭尾被柳葉式。棘尾被を有す。	
	186	A-68	鐵	2.4cm	0.8	0.1	刀部のみ。平両刃の變身。	
	187	A-67	鐵	14.5	0.5	0.3	頭部のみ。棘尾被を有す。	
	188	A-54	鐵	14.5	0.5	0.3	柄のため鐵身部の形態は不明。平両刃か。棘尾被を有す。	木製の矢柄に樹皮を巻いて装着したもののか。
	189	A-57	鐵	14.7	0.8	0.3	柄のため鐵身部の形態は不明。平両刃か。棘尾被を有す。	茎部に木質残る。
	190	A-59	鐵	17.0	0.6	0.3	鐵身長1.5cm。尾被部9.8cm、茎部5.7cmを測る。曲丸刃、三角形抜跡長頭尾被式。棘尾被を有す。	茎部に木質残る。
	191	A-65	鐵	18.4cm	0.8	0.4	鐵身長1.4cm以下。尾被部12.5cm、茎部4.5cm以上を測る。曲丸刃、三角形抜跡長頭尾被式か。棘尾被を有す。尾被部が大きく曲る。	茎部に木質残る。
	192	A-37	鐸	6.2	4.8	0.4	倒卵形を呈し、やや厚手の造り。中央の孔は長径2.8cm、短径1.8cmを測る。	
	193	A-37	直刀	55.7	2.6	0.7	刀身は、フクナギ先端、断面は等辺三角形、平造り。間は均等両開。茎側部は中細、茎尻は梨尻。茎に斜削孔を有す。高さ1.6cm、幅	茎部に木質が残る。

※は残存品

出土遺構	遺物番号	取上番号	種類	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	形態上の特徴	備考
							3.3cm、厚さ0.2cmを測り、断面「T」字形を呈す鉢が装着されている。	
B-1号 横穴墓	194	B-86	刀子	10.7※	0.9	0.3	刀身長6.5cm以上、切先を欠く。細身の刀身。関は均等両開、茎柄部は細、茎尻は葉状。	刀身部に木質が残る。
B-2号 横穴墓	195	B-63 81	刀子	8.3※	0.9	0.9	刀身長6.3cm以上、切光を欠く。間に近づくにつれて刃幅が大きくなる。関は不均等両開、茎柄部は直角、茎尻は不明。	茎部に木質残る。
	196	B-52	鎌	10.4※	1.6	0.4	鎌身長2.7cm以上、葉被部5.5cm、茎部2.4cm以上を測る。両丸刃刀、三角形抜錐頭快長頭鎌被式。棘巻被を有す。	木製の矢柄に樹皮を帯びて装着。
	197	B-74	鎌	11.5※	1.7	0.4	鎌身長3.2cm、葉被部5.7cm、茎部3.0cm以上を測る。両丸刃刀、三角形抜錐頭快長頭鎌被式。棘巻被を有す。	木製の矢柄に樹皮を帯びて装着。
	198	B-57	鎌	11.8※	1.8	0.4	鎌身長3.2cm、葉被部6.1cm、茎部3.2cm以上を測る。両丸刃刀、三角形抜錐頭快長頭鎌被式。棘巻被を有す。	
	199	B-53	鎌	12.0※	1.2	0.3	鎌身長2.8cm以上、葉被部4.9cm、茎部4.5cm以上を測る。両丸刃刀、長頭鎌被柳葉模様快式。棘巻被を有す。	
	200	B-54	鎌	10.4※	1.3	0.4	鎌身長2.6cm以上、葉被部4.9cm、茎部3.5cm以上を測る。両丸刃刀、長頭鎌被柳葉模様快式。棘巻被を有す。	
	201	B-35	鎌	12.9※	1.3	0.4	鎌身長3.1cm以上、葉被部5.7cm、茎部4.8cmを測る。両丸刃刀、長頭鎌被柳葉模様快式。葉被の形態は不明。	
	202	B-56	鎌	10.0※	1.1	0.4	鎌身長1.2cm以上、葉被部4.4cm、茎部4.6cmを測る。両丸刃刀、長頭鎌被柳葉模様快式か。やや広くなる葉巻被を有す。	
	203	B-58	鎌	9.2※	1.4	0.3	鎌身長3.9cm、葉被部4.8cm、茎部1.8cm以上を測る。両丸刃刀、長頭鎌被柳葉模様快式、棘巻被を有す。	木製の矢柄に樹皮を帯びて装着。
	204	B-59	小刀	25.9	1.8	0.3	刀身長18.0cm、ツカラ切先。断面二等辺三角形平造り。やや広くなる間を開く。両開か。茎柄部は中粗、茎尻は葉状。茎に幅0.3cm、長2.1cmの目釘が残る。幅2.1cmの縦溝が残る。	茎部に木質残る。
	205	B-64	直刀	51.3	2.5	0.6	刀身長40.5cm、切先部を欠く。断面二等辺三角形平造り。関は不均等両開、茎柄部は中粗、茎尻は葉状。長径5.0cm、短径3.8cmの倒卵形を呈す模及び、幅1.8cmの銀板を断面側面部に曲げた鉢が装着される。	刀身・茎部に木質残る。
C-1号 横穴墓	206	C-56	刀子	10.7※	1.0	0.3	刀身長5.7cm以上、切光を欠く。断面二等辺三角形平造り。両開か。茎部に木質残る。	
	207	C-28	刀子	5.7※	0.7	0.2	刀身部のみ、両面、等辺三角形平造り。	
	208	C-28	不明	1.8※	0.2	0.2	断面方形。一方頭部がやや肥大している。	木質が付着する。
	209	C-41	針	11.8	0.5	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面方形。	木棺材厚4.2cm。
	210	C-47	針	11.5※			木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>1</sub> )—a類	
	211	C-57	針	11.4	0.6	0.5	頭部は「U」字状に折り曲げる。断面長方形。	木棺材厚4.1cm。
	212	C-103 117	針	10.4※	0.6	0.4	木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>2</sub> )—a類	
	213	C-60 95	針	7.6※	0.5	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。	
	214	C-53	針	4.1※	0.6	0.4	一方方向の木目の木質が付着する。Z(Z <sub>1</sub> )—a類	
	215	C-46	針	7.9※	0.5	0.4	頭部は欠く。断面長方形。	
	216	C-40	針	10.0	0.5	0.4	一方方向の木目の木質が付着する。Y(Y <sub>2</sub> )—b類	木棺材厚4.4cm。 スキマ有り。

著は現存致

出土遺構 番号	遺物 番号	取 手 種 類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最 大 厚 (cm)	形 態 上 の 特 徴	備 考	
	217	C-49 鉤	9.3	0.6	0.5	頭部は「し」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>1</sub> )→b類	木棺材厚4.8cm。 スキマ有り。	
	218	C-50 101	針	9.7	0.6	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>1</sub> )→b類	木棺材厚4.4cm。 スキマ有り。
	219	C-51 鉤	9.8	0.6	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>1</sub> )→b類	木棺材厚4.6cm。	
	220	C-62 鉤	9.1	0.6	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>1</sub> )→c類	木棺材厚3.5cm。	
	221	C-94 鉤	9.1	0.6	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 ?	木質ナシ。	
	222	C-28 117	針	8.8	0.6	0.4	頭部は僅かに折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。X→c類	木棺材厚4.2cm。
	223	C-35 鉤	8.6	0.6	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>1</sub> )→c類	木棺材厚4.8cm。	
	224	C-61 鉤	8.7	0.7	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>1</sub> )→c類	木棺材厚3.8cm。 スキマ有り。	
	225	C-65 鉤	8.3	0.6	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>1</sub> )→d類	木棺材厚4.0cm。 スキマ有り。	
	226	C-28 鉤	7.8	0.6	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。X→d類	木棺材厚3.7cm。	
	227	C-71 鉤	8.0	0.5	0.3	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>1</sub> )→d類	木棺材厚4.1cm。 スキマ有り。	
	228	C-48 鉤	7.9	0.6	0.4	頭部の形状は鈎のため不明(丸頭類)。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>1</sub> )→d類	木棺材厚3.8cm。	
	229	C-102 鉤	3.8※	0.6	0.4	頭部は「O」字状に曲げる。断面長方形。 先端部を欠く。 ?	木質が付着する。	
	230	C-64 鉤	5.6※	0.6	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。先端部を欠く。 木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y <sub>1</sub> )→?	木棺材厚3.5cm。 スキマ有り。	
	231	C-66 鉤	5.2※	0.6	0.4	頭部は鈎のために破損が著しい。「L」字状に折り曲げたものか。 断面長方形。 ?	木質が付着する。	
	232	C-58 鉤	4.0※	0.5	0.4	頭部を欠く。断面不整形。 ?	木質が付着する。	
	233	C-59 鉤	6.2※	0.4	0.4	頭部を欠く。断面方形。 ?	木質が付着する。	
	234	C-100 鉤	3.1※	0.5	0.3	頭部を欠く。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。?		
	235	C-63 鉤	3.8※	0.5	0.4	頭部・先端部を欠く。断面長方形。?	木質が付着する。	
	236	C-105 鉤	4.0※	0.5	0.4	頭部を欠く。断面長方形。 ?	木質が付着する。	
	237	C-38 鞘灰	4.1	3.2	0.2	両端部がやや肥大する。腹面倒卵形を呈す。先端部は突き抜ける。 内面に木質が付着する。		
	238	C-36 鞘	8.4	6.0	0.2	やや変形した倒卵形を呈し、薄手の造り。中央孔は長径3.5cm、 短径1.7cmを測る。 柄と想われる木質が残る。		
	239	C-39 鞘刀	88.0※	3.2	0.6	刀身長82.6cm、カマス切先。断面二等辺三角形平造り。切先は鋸い。刃側が内凹する。開闊か。幅1.1cmの鉄板を倒卵形に曲げた繩が複数枚有る。 茎部に木質残る。	刀身、茎部に木質残る。	
C-4号 横穴墓	240	C-187 刀子	13.2	1.3	0.5	刀身長8.5cm。断面二等辺三角形平造り。切先は鋸い。刃側が内凹する。開闊か。幅1.1cmの鉄板を倒卵形に曲げた繩が複数枚有る。	茎部に木質残る。	
	241	C-170 鐵	14.3	1.4	0.4	頭部長2.6cm、茎部厚7.1cm、茎部5.2cmを測る。圓丸頭刃、三角形広鉢形斜張頭巻被式。やや広くなる開闊部を有す。		
	242	C-178 鐵	12.8※	1.4	0.3	鐵長2.4cm以上。圓錐部6.4cm、茎部4.4cm以上を測る。圓丸頭刃、 三角形広鉢形斜張頭巻被式。やや広くなる開闊部を有す。		

筆は残存地

出土遺構	遺物番号	取上番号	種類	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	形態上の特徴	備考
	243	C-179	鎌	14.2※	1.4	0.3	鎌身長2.4cm以上、茎部5.7cm、茎部5.2cmを測る。両丸刃、三角形広鋸歯長頭鎌被式。やや広くなる間鎌被を有する。	
	244	C-172	鎌	12.7	1.3	0.3	鎌身長2.6cm、茎部5.6cm、茎部4.8cmを測る。両丸刃、三角形狭鋸歯長頭鎌被式。やや広くなる間鎌被を有す。	
	245	C-175	鎌	10.3※	1.3	0.3	鎌身長2.4cm以上、尾部5.6cm、茎部5.2cm以上を測る。両丸刃、三角形広鋸歯長頭鎌被式。やや広くなる間鎌被を有す。	
	246	C-171	鎌	8.8※	1.2	0.2	鎌身長2.6cm以上、茎部4.3cm、茎部2.4cm以上を測る。両丸刃、長頭鎌被細柳葉柄式。やや広くなる間鎌被を有す。	木製の矢柄に樹皮を帯びて接着。
	247	C-176	鎌	13.5	1.3	0.3	鎌身長3.9cm、尾部4.5cm、茎部5.4cmを測る。両丸刃、長頭鎌被柳葉柄式。やや広くなる間鎌被を有す。	
	248	C-181	鎌	11.2※	1.2	0.3	鎌身長3.3cm以上、茎部4.6cm、茎部3.6cm以上を測る。両丸刃、長頭鎌被柳葉柄式。やや広くなる間鎌被を有す。	
	249	C-180	鎌	9.2※	1.3	0.4	鎌身長4.0cm、尾部4.1cm、茎部1.5cm以上を測る。両丸刃、長頭鎌被柳葉柄式。やや広くなる間鎌被を有す。	
	250	C-174	鎌	2.5※	0.2	0.2	茎部のみ。断面長楕円形を呈す。	
	251	C-182 194	資金具		0.4	0.3	幅0.4cmの鉄板を長径3.0cm、短径2.1cmの倒卵形に曲げる。断面長方形を呈す。	
	252	C-184	資金具	2.8※	0.3	0.2	やや湾曲する。断面長方形を呈す。	253、254と接合するか。
	253	C-177	資金具	3.2※	0.3	0.2	やや湾曲する。断面長方形を呈す。	
	254	C-177	資金具	1.8※	0.3	0.2	やや湾曲する。断面長方形を呈す。	
	255	C-185	不明	径 0.7	0.7	0.2	径0.7cm、短輪状を呈す。一方端が肥大する。	直刃の付属品か
C-4号横穴墓	256	C-169	柄頭	4.9	3.0	0.3	長径3.0cm、短径2.0cmの倒卵形を呈す。やや厚手のつくり。先端は突きぬけず、傾斜をもつ。	内部に木質残る。鞘尻の可能性もある。
	257	C-186	直刀	52.8※	2.7	0.6	刀身長43.4cm、フクタ先切。断面二等辺三角形半造り。茎部に目釘が残る。両側から茎部は中細、茎尻は不明。長径4.5cm、厚さ0.6cmの倒卵形を呈す咲出断面及び、幅2.2cmの鉄板を倒卵形に曲げた紐が装着される。	刀身・茎部に木質残る。
C-5号横穴墓	258	C-261	刀子	5.1※	1.0	0.3	刀身から茎部にかけてのものか。錆化が著しい。	
	259	C-261	刀子	3.6※	0.9	0.4	茎部か。	
	260	C-265	鎌	10.6	2.3	0.3	鎌身長5.9cm、有頭の筋状広根式。茎端部が折れ曲る。	茎部に木質残る。
C-5号圓窓	261	C-357	鎌	3.8※	2.4	1.5	鎌身部のみ。平頭刃。	
	262	C-357	鎌	2.9※	0.8	0.1	鎌身長1.5cm。鎌身部から頭部にかけての残欠、両丸刃、三角形狭鋸歯長頭鎌被式か。頭を有さない。	
C-6号横穴墓	263	C-156	刀子	7.6※	1.1	0.4	刀身長4.4cm以上、先切を欠く。断面二等辺三角形で、刀側がゆるく内凹する。頭部が大きく広がる。幅0.9cmの鉄板を長楕円形に曲げた紐が装着される。	頭内に木質残る。
	264	C-193	刀子	5.2※	0.8	0.3	刀身部の先切を欠く。断面二等辺三角形。頭部がやや広がる。	
	265	C-193	鎌	3.9※	1.6	0.4	鎌身長2.9cm、鎌身から頭部にかけての残欠。両丸刃、三角形狭鋸歯長頭鎌被式か。	
	266	C-193	鎌	4.3※	1.4	0.3	鎌身長2.6cm。鎌身から頭部にかけての残欠。両丸刃、三角形狭鋸歯長頭鎌被式か。	
	267	C-148	鎌	2.1※	0.3	0.3	茎部のみ。断面長方形を呈す。	木質残る。
	268	C-193	鎌	5.0※	0.6	0.3	茎部のみ。尾被綱は断面長方形、先端部は断面方形を呈す。	木製の矢柄に樹皮を帯びて接着。
	269	C-193	鎌	3.6※	0.5	0.3	茎部のみ。断面長方形を呈す。	木質残る。

車には成存

出土遺構	遺物番号	取上番号	種類	最大長(cm)	最大幅(cm)	基底厚(cm)	形態上の特徴	備考	
	270	C-193	旗	2.1※	0.6	0.3	麓被部のみ。断面長方形を呈す。		
	271	C-193	旗	4.8※	0.4	0.3	茎部のみ。断面長方形を呈す。	木製の矢柄に樹皮を帯びて装着。	
	272	C-193	旗	3.6※	0.6	0.3	麓被部から茎部にかけて残存。断面長方形を呈す。麓被部を有す。	木製の矢柄に樹皮を帯びて装着。	
	273	C-152	鞘尻	4.7	2.9	0.3	長径2.9cm、短径1.9cmの倒卵形を呈す。先端は突きぬけず、錐形をもつ。	内面に木質残る。柄頭の可能性有。	
	274	C-155	直刀	39.5※	2.8	0.7	刀身長54.1cm以上。切先を欠く。断面二等辺三角形平造り。間は均等両開、茎側部は中継、茎尻は不明。毛部に目釘が残る。細長径3.8cm、短径2.7cmの倒卵形の痕跡が一体となるもの。	刀身、細内面に木質残る。	
C-7号横穴墓	275	C-268	刀子	13.6	1.4	0.4	刀身長8.9cm、切先はにぶく、やや反りをもつ。間はやや広くなる。均等両開か。茎側部は中継、茎尻は栗尻。幅1.2cmの鉄板を倒卵形に曲げた縫が装着される。	茎部に木質残る。	
	276	C-269	刀子	12.9※	1.1	0.4	刀身長6.0cm以上。切先を欠く。刃・背とも内湾する。片闊か。茎側部は中継、茎尻は栗尻か。幅0.5cmの鉄板を倒卵形に曲げた縫が装着される。	地外面に木質行有する。	
		339							
	277	C-270	刀子	14.1	1.4	0.5	刀身長8.0cm、切先は穂い。断面二等辺三角形。間は均等両開、茎側部は直、茎尻は栗尻。	茎部に木質残る。	
	278	C-273	旗	8.7※	0.9	0.3	旗身から麓被部にかけての残存。旗身長1.2cm、片丸両刃、三角形旗縫長頸麓被式か。		
		298							
	279	C-298	旗	4.9※	0.4	0.3	麓被部のみ。断面長方形。		
	280	C-329	旗	4.1※	0.5	0.3	麓被部から茎部にかけての残存。断面長方形。麓被部を有す。		
	281	C-339	旗	2.8※	0.9	0.3	旗身長1.1cm、片丸両刃、三角形旗縫長頸麓被式か。		
							旗身から麓被部にかけての残存。		
	282	C-272	旗	3.8※	0.5	0.3	麓被部のみ。断面長方形。		
	283	C-266	旗	6.4※	0.5	0.2	麓被部のみ。断面長方形。		
		298							
	284	C-271	旗	10.8※	1.1	0.3	旗身から麓被部にかけての残存。旗身長2.6cm以上。片丸両刃、長颈麓被葉葉式か。		
	285	C-274	旗	14.2※	0.8	0.3	旗身長1.2cm以上、麓被部9.4cm、茎部3.6cmを測る。片丸両刃、三角形旗縫長頸麓被式。		
		275					旗被部を有す。		
		298							
	286	C-266	旗	3.9※	2.8	0.4	旗身部のみ。両丸両刃、有頭平根五角形式か。		
	287	C-294	旗	11.6※	2.6	0.4	旗身長4.3cm以上、麓被部2.8cm、茎部4.6cm以上を測る。片丸両刃、広鋒直三角形駒挿式か。開麓被を有す。		
	288	C-296	鞘尻	5.6	3.2	0.1	長径3.2cm、短径1.8cmの倒卵形を呈す。精口脛に資金具が付く。先端は突きぬけず、平出。		
	289	C-293	直刀	43.9	2.8	0.6	刀身長33.9cm。カマス切先。断面二等辺三角形。間は均等両開、茎側部は中継、茎尻は栗尻。茎部には目釘が残る。幅2.1cmの鉄板を倒卵形に曲げた縫が装着される。		
C-8号横穴墓	290	C-313	刀子	11.8※	1.2	0.3	刀身長6.4cm以上。切先を欠く。刃側が内湾する。間は均等両開か。茎側部は中継、茎尻は栗尻か。幅1.1cmの鉄板を横円形に曲げた縫の一部が残る。	茎部に木質残る。	
		348	刀子	8.7※	1.2	0.2	刀身長5.2cm以上。切先を欠く。刃側がやや内湾する。間は不均等両開か。茎側部は中継、茎尻は不明。幅1.0cmの鉄板を倒卵形に曲げた縫の一部が残る。	茎部に木質残る。	
		292	C-312	刀子	7.0※	1.1	0.3	刀身長2.6cm以上。半分以上を欠く。不均等両開か。茎側部は細、茎尻は隅切式。	茎部に木質残る。

※は残存遺

出土遺物 番号	取上 番号	種類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	形態上の特徴	備考
	293	C-305 鐵	12.9	1.7	0.3	鐵身長3.1cm、尾被部5.2cm、茎部5.0cmを測る。片丸刃、三角形 直角張長頭葉式。開闊被を有す。	
	294	C-310 鐵	14.4	1.1	0.3	鐵身長3.5cm、尾被部5.4cm、茎部5.7cmを測る。片丸刃、長頭葉 被柳葉闊式。やや広くなる開闊被を有す。	
	295	C-304 鐵	14.9	1.1	0.3	鐵身長3.6cm、尾被部5.1cm、茎部6.2cmを測る。片丸刃、長頭葉 被柳葉式。縫隙被を有す。	
	296	C-307 鐵	14.9	1.1	0.4	鐵身長3.7cm、尾被部5.6cm、茎部5.6cmを測る。片丸刃、長頭葉 被柳葉式。やや広がる開闊被を有す。	
	297	C-302 鐵	12.0※	0.9	0.2	鐵身長2.8cm、尾被部7.2cm、茎部2.0cm以上を測る。片丸刃、 長頭葉被柳葉式。縫隙被を有す。	
	298	C-308 鐵	15.6※	0.9	0.4	鐵身長4.9cm、尾被部5.9cm、茎部4.8cm以上を測る。鐵身部は二段 になり、共に片丸刃。長頭葉被柳葉式の変化。開はない。 縫隙被を有す。	茎部に木質残る。
	299	C-303 鐵	16.8	0.9	0.5	鐵身長3.0cm、尾被部8.0cm、茎部5.8cmを測る。片丸刃、長頭葉 被柳葉式。開はない。開闊被を有す。	
	300	C-301 鐵	15.4	0.8	0.2	鐵身長2.0cm、尾被部8.3cm、茎部5.1cm以上を測る。片丸刃、長 頭葉被柳葉式。開はない。縫隙被を有す。	木製の矢枝に樹皮 を帯びて表着。
	301	C-306 鐵	10.1※	0.5	0.3	鐵身と尾被部の一部を欠く。断面長方形。やや広がる開闊被を有 す。	
	302	C-309 鐵	8.6※	0.5	0.3	尾被部から茎部にかけての残欠。断面長方形。やや広がる開闊被 を有す。	
	303	C-340 鐵	7.9※	0.5	0.4	尾被部から茎部にかけての残欠。断面長方形。縫隙被を有す。	
	304	C-311 鐵	7.6※	0.4	0.3	尾被部から茎部にかけての残欠。断面長方形。やや広がる開闊被 を有す。	
	305	C-350 鐵	1.9※	0.4	0.4	茎部のみ。断面方形。	本質が残る。
	306	C-315 鐵	6.2※	0.8	0.3	鐵身部から尾被部にかけての残欠。先端を欠く。鐵身長1.2cm以 上。片丸刃、三角形抜鉗長頭葉板式か。	
	307	C-315 鐵	4.3※	0.8	0.2	鐵身部から尾被部にかけての残欠。鐵身長2.8cm。片丸刃、長頭 葉被柳葉式か。	
	308	C-257 鐵	3.9※	0.9	0.2	鐵身部のみ。片丸刃。	

※は現存値。

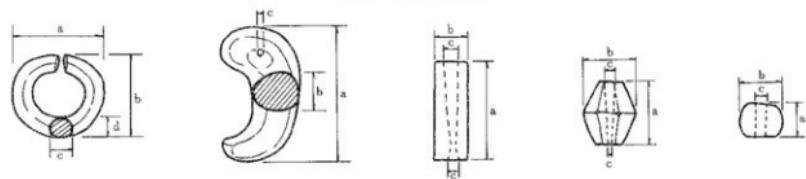
玉類觀察表

出土遺構 番号	遺物 種類	種類 番号	取上 a b c (mm)			材質 色調	出土遺構 番号	遺物 種類	種類 番号	取上 a b c (mm)			材質 色調			
			a	b	c					a	b	c				
B-1号	331	勾玉	80	28.4	7.7	3.0-1.1	メノウ 黄	茶	B-1号	385	小玉	134	2.6	3.8	1.1 ガラス 青	
B-1号	332	勾玉	115	30.8	8.0	2.5-1.6	碧玉	綠	B-1号	386	小玉	134	1.9	4.2	1.5 ガラス 青	
B-1号	333	勾玉	88	27.9	7.5	2.9-1.4	メノウ 淡黄茶乳白	白	B-1号	387	小玉	134	3.8	3.7	1.2 ガラス 青	
B-1号	334	勾玉	116	34.4	10.0	2.9-1.4	メノウ 赤	茶	B-1号	388	小玉	134	1.8	3.9	1.2 ガラス 青	
B-1号	335	勾玉	117	24.1	7.0	2.7-1.0	メノウ 黄	茶	B-1号	389	小玉	134	2.6	4.0	1.5 ガラス 青	
B-1号	336	管玉	90	25.3	8.3	3.9-2.7	碧玉	綠	B-1号	390	小玉	134	2.3	3.7	1.2 ガラス 青	
B-1号	337	切子玉	91	16.2	13.2	3.5-1.3	水晶	透	明	B-1号	391	小玉	134	1.0	3.4	1.1 ガラス 青
B-1号	338	切子玉	92	13.8	11.6	3.3-2.2	水晶	透	明	B-1号	392	小玉	134	2.7	4.0	1.3 ガラス 青
B-1号	339	切子玉	128	21.5	15.3	3.4-1.5	水晶	透	明	B-1号	393	小玉	134	2.6	4.2	1.3 ガラス 青
B-1号	340	切子玉	94	12.2	10.3	2.7-1.5	水晶	透	明	B-1号	394	小玉	134	2.6	3.9	1.3 ガラス 青
B-1号	341	切子玉	112	12.3	8.4	4.4-1.6	水晶	透	明	B-1号	395	小玉	134	2.0	3.2	1.7 ガラス 青
B-1号	342	切子玉	120	13.0	11.3	3.2-1.4	水晶	透	明	B-1号	396	小玉	134	2.0	3.2	1.5 ガラス 青
B-1号	343	切子玉	121	9.4	8.5	2.7-1.2	水晶	透	明	B-1号	397	小玉	134	2.2	3.8	1.0 ガラス 青
B-1号	344	切子玉	123	11.3	9.9	3.4-2.2	水晶	透	明	B-1号	398	小玉	134	2.9	3.8	1.2 ガラス 青
B-1号	345	切子玉	134	7.9	11.6	2.7-1.6	水晶	透	明	B-1号	399	小玉	134	2.3	4.3	1.8 ガラス 青
B-1号	346	丸玉	95	8.9	12.7	3.7-1.6	水晶	透	明	B-1号	400	小玉	134	2.0	3.3	1.4 ガラス 青
B-1号	347	小玉	87	10.8	7.9	2.1	ガラス	透	杏	B-1号	401	小玉	134	1.7	2.7	4.0 ガラス 青
B-1号	348	小玉	89	8.0	9.5	1.8	ガラス	透	杏	B-1号	402	小玉	138	2.0	3.6	1.0 ガラス 青
B-1号	349	小玉	93	8.8	8.5	2.3	ガラス	透	杏	B-1号	403	小玉	139	2.9	4.0	1.0 ガラス 青
B-1号	350	小玉	113	5.5	7.6	1.6	ガラス	透	杏	B-1号	404	小玉	140	2.9	3.6	1.0 ガラス 青
B-1号	351	小玉	118	-	7.4	2.5	ガラス	透	杏	B-1号	405	小玉	141	2.2	-	1.5 ガラス 青
B-1号	352	小玉	119	5.4	7.6	1.6	ガラス	透	青	C-1号	406	切子玉	54	20.6	15.4	3.8-1.6 水晶 透
B-1号	353	小玉	122	5.2	8.5	1.7	ガラス	透	青	C-1号	407	切子玉	104	21.5	15.4	3.8-1.1 水晶 透
B-1号	354	小玉	124	4.6	8.3	2.1	ガラス	透	青	C-3号	408	勾玉	75	33.8	10.4	3.1-1.8 水晶 透
B-1号	355	小玉	125	4.5	7.2	1.7	ガラス	透	青	C-3号	409	勾玉	76	33.4	9.8	3.2-1.4 水晶 透
B-1号	356	小玉	126	6.3	8.4	2.8	ガラス	透	青	C-3号	410	勾玉	77	38.7	10.5	2.5-1.2 メノウ 黄茶-淡紫
B-1号	357	小玉	127	6.6	9.0	1.5	ガラス	透	青	C-3号	411	勾玉	78	33.4	9.4	2.7-1.2 メノウ 黄茶-乳白
B-1号	358	小玉	134	5.1	7.9	1-2	ガラス	透	青	C-3号	412	勾玉	79	30.2	9.1	2.8-1.2 メノウ 黄茶
B-1号	359	小玉	134	5.4	7.9	1.6	ガラス	透	青	C-3号	413	勾玉	80	35.9	9.9	3.1-1.0 メノウ 黄茶
B-1号	360	小玉	134	4.1	7.4	2.2	ガラス	透	青	C-3号	414	勾玉	91	32.1	10.5	2.6-1.5 メノウ 黄茶
B-1号	361	小玉	134	4.5	7.2	1.3	ガラス	透	青	C-3号	415	策玉	81	28.8	10.5	3.0-2.5 碧玉 明
B-1号	362	小玉	134	5.9	7.8	1.8	ガラス	透	青	C-3号	416	小玉	96	5.8	7.5	1.3 ?
B-1号	363	小玉	134	5.5	6.4	1.6	ガラス	透	青	C-4号	417	策玉	145	10.4	12.9	2.9-1.9 水晶 透
B-1号	364	小玉	135	6.2	7.3	1.6	ガラス	透	青	C-4号	418	小玉	145	6.7	6.9	1.3 ガラス 青
B-1号	365	小玉	136	6.0	8.8	1.8	ガラス	透	青	C-4号	419	小玉	144	3.5	4.7	1.6 ガラス 透
B-1号	366	小玉	145	3.7	-	1	ガラス	透	青	C-4号	420	小玉	144	3.7	5.5	1.5 ガラス 青
B-1号	367	小玉	130	2.4	4.1	1.0	ガラス	透	青	C-4号	421	小玉	144	3.5	5.3	1.6 ガラス 青
B-1号	368	小玉	131	2.9	4.2	1.2	ガラス	透	青	C-4号	422	小玉	149	3.1	4.8	1.0 ガラス 青
B-1号	369	小玉	134	2.6	3.8	1.0	ガラス	透	青	C-4号	423	小玉	149	2.7	5.7	1.7 ガラス 青
B-1号	370	小玉	134	2.1	4.6	1.2	ガラス	透	青	C-4号	424	小玉	149	2.3	4.2	1.0 ガラス 青
B-1号	371	小玉	134	2.1	5.0	1.4	ガラス	透	青	C-4号	425	土玉	149	4.4	-	1.0 土製 暗茶
B-1号	372	小玉	134	2.0	4.0	1.0	ガラス	透	青	C-4号	426	土玉	149	4.4	4.6	1.2 土製 暗茶
B-1号	373	小玉	134	1.8	3.3	1.2	ガラス	透	青	C-4号	427	土玉	149	5.8	-	- 土製 暗茶
B-1号	374	小玉	134	1.9	3.6	1.5	ガラス	透	綠	C-4号	428	土玉	149	5.6	-	- 土製 暗茶
B-1号	375	小玉	134	2.8	4.3	1.2	ガラス	透	青	C-4号	429	土玉	201	5.8	6.4	0.8 土製 暗茶
B-1号	376	小玉	134	2.0	3.5	1.0	ガラス	透	青	C-4号	430	土玉	201	4.7	5.2	0.8 土製 暗茶
B-1号	377	小玉	134	2.5	3.8	1.2	ガラス	透	青	C-4号	431	土玉	201	-	6.0	- 土製 暗茶
B-1号	378	小玉	134	1.1	4.7	1.4	ガラス	透	青	C-4号	432	土玉	201	-	-	2.7-1.1 土製 暗茶
B-1号	379	小玉	134	1.8	3.2	1.0	ガラス	透	綠	C-7号	433	管玉	280	24.1	8.2	2.7-1.1 碧玉
B-1号	380	小玉	134	2.4	3.8	1.2	ガラス	透	綠	C-7号	434	细玉	278	37.4	11.0	2.6-1.8 メノウ 黄茶
B-1号	381	小玉	134	2.9	4.0	1.0	ガラス	透	青	C-7号	435	勾玉	279	34.5	9.4	3.1-1.5 碧玉
B-1号	382	小玉	134	1.9	3.7	1.1	ガラス	透	青	C-7号	436	丸玉	338	8.6	11.2	2.9 火成岩
B-1号	383	小玉	134	2.0	3.5	1.2	ガラス	透	綠	C-7号	437	丸玉	338	8.5	10.0	3.5-2.8 ガラス 白
B-1号	384	小玉	134	1.0	4.1	1.9	ガラス	透	青							

## 耳環観察表

出土遺構 番号	遺物 番号	取上 番号	a	b	c	d	材質 参考	出土遺構 番号	遺物 番号	取上 番号	a	b	c	d	材質 参考
						(mm)								(mm)	
B-1号	309	B-96	27.7	25.5	8.5	6.1	銅環に銀被金 裏面著しい	C-3号	320	C-90	29.6	25.8	6.1	6.2	銅環
B-1号	310	B-129	(27.5)	25.5	8.0	6.1	銅環に銀被金 裏面著しい	C-4号	321	C-204	(30.0)	(25.8)	(6.4)	(7.0)	銅環に銀被金 裏面著しい
B-2号	311	B-40	(29.2)	(24.4)	(5.2)	(5.5)	銅環 裏面著しい	C-4号	322	C-211	29.3	(26.9)	8.2	7.1	銅環に銀被金 裏面著しい
B-2号	312	B-73	31.2	27.9	7.2	7.4	銅環	C-6号	323	C-24	(25.5)	(22.1)	5.3	5.4	銅環に銀被金 裏面著しい
C-1号	313	C-42	19.7	17.5	5.1	3.5	銅環に金鍍金	C-6号	324	C-69	25.9	23.7	5.5	5.4	銅環に銀被金
C-1号	314	C-43	19.2	17.1	4.9	3.4	銅環に金鍍金	C-7号	325	C-276	23.0	21.2	6.4	4.7	銅環に銀被金
C-1号	315	C-44	25.9	23.8	8.0	5.6	銅環に金鍍金	C-7号	326	C-295	22.1	21.2	6.5	4.5	銅環に金鍍金
C-1号	316	C-45	25.4	23.5	7.8	5.5	銅環に金鍍金	C-7号	327	C-292	23.9	22.1	6.5	5.2	銅環に金鍍金
C-1号	317	C-52	22.1	20.7	7.1	4.7	銅環に金鍍金	C-7号	328	C-277	25.6	23.2	6.6	5.8	銅環に金鍍金
C-1号	318	C-55	21.8	20.4	6.8	4.5	銅環に金鍍金	C-8号	329	C-299	34.3	31.5	9.8	9.1	大型中空 銅環に金鍍金
C-3号	319	C-74	29.5	26.0	6.4	6.2	銅環	C-8号	330	C-300	34.8	31.9	9.8	9.0	大型中空 銅環に金鍍金

### 玉類・耳環計測箇所



#### 補遺 〈耳環金属鑑定について〉

大船山B-2号横穴墓出土の耳環(遺物番号311)について、日立金属株式会社和鋼記念館・冶金研究所の協力を得て、急速、金属鑑定を行なった。短時間に行なったため正確を期しがたい点もあるが、走査型顕微鏡を用いた分析によると、純粋な銅(Cu)地金に、銀(Ag)鍍金を行なっているという結果が得られた。無理なお願いを聞いていただいた同記念館・佐藤豊副館長および同研究所・瀬崎博史主任に改めて謝意を表します。

# 図 版

図版 1



大塔山横穴墓群全景



A区遠景



B区遠景

図版2



C区遠景



C-II小支群遠景



C-III小支群遠景

図版 3



A—1号横穴完掘状况



土層断面

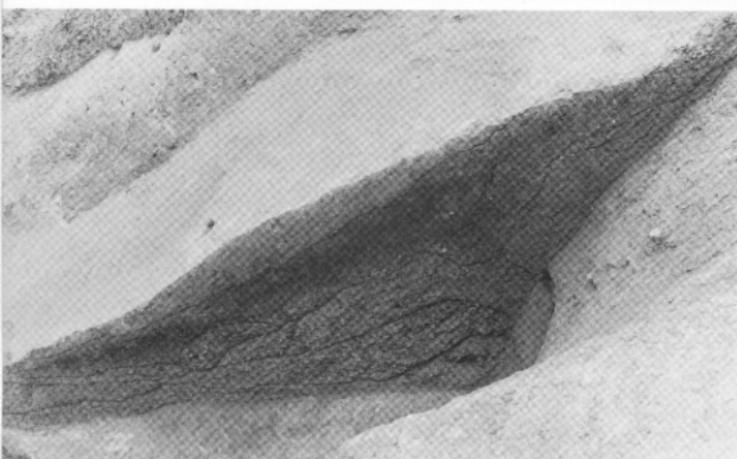


掘削工具痕

図版 4



A-2号横穴墓  
完掘状況

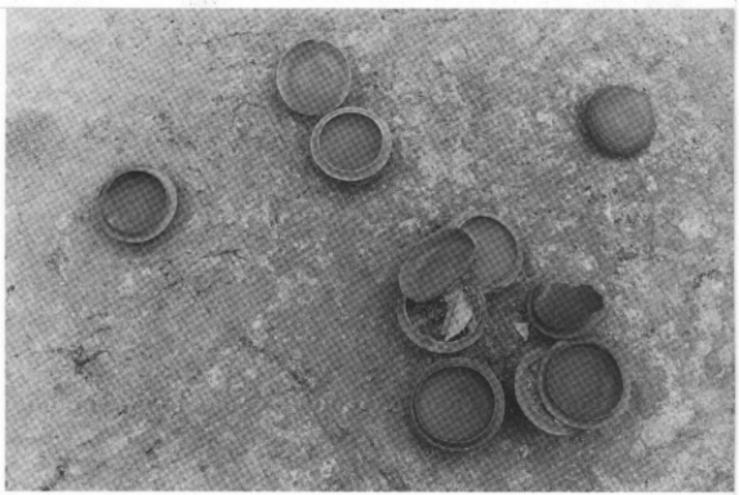


土層断面



前庭遺物出土状況

図版 5



A-2号横穴墓  
前庭 遺物出土状況



玄門(玄室内より)

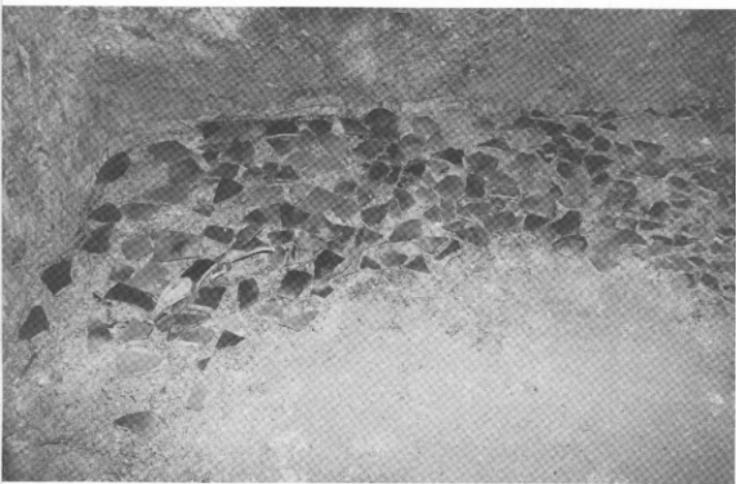


玄室内排水溝  
掘削工具痕

図版 6

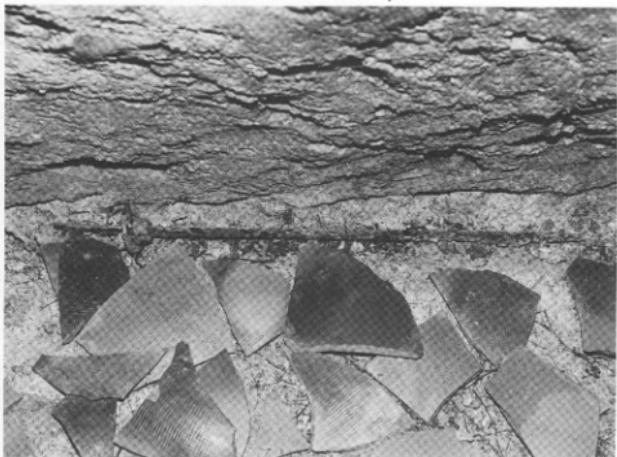


A—2号横穴墓室内  
人骨出土状況



須恵器屍床

遺物出土状況  
左—平瓶と甌の組み合せ  
右—直刀  
↓



図版 7



B-1号横穴墓  
完掘状況



閉塞押さえ石



前庭遺物出土状況



B—1号横穴墓  
玄門・玄室内  
遺物出土状況

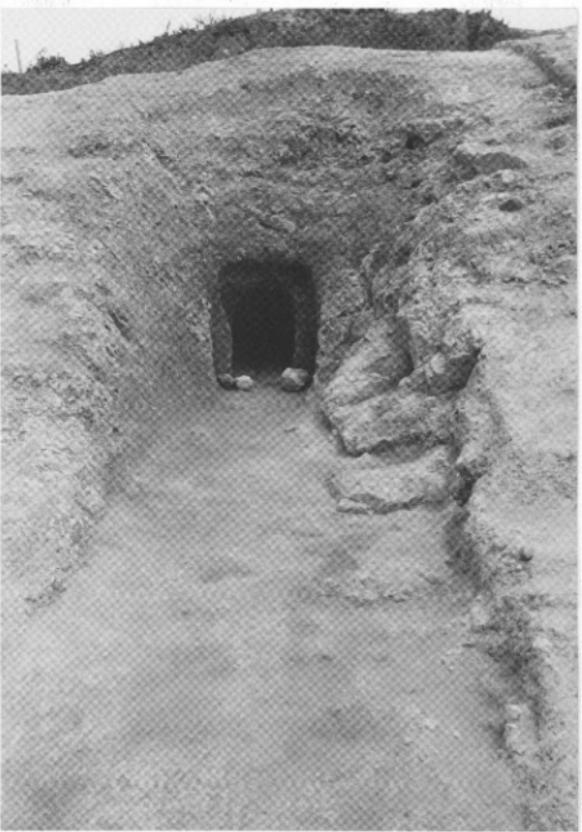


玄室内遺物出土状況  
須恵器屍床

↓  
玄室内  
玉類・耳環出土状況



図版 9



B-2号横穴墓完掘状況

玄門・閉塞押さえ石



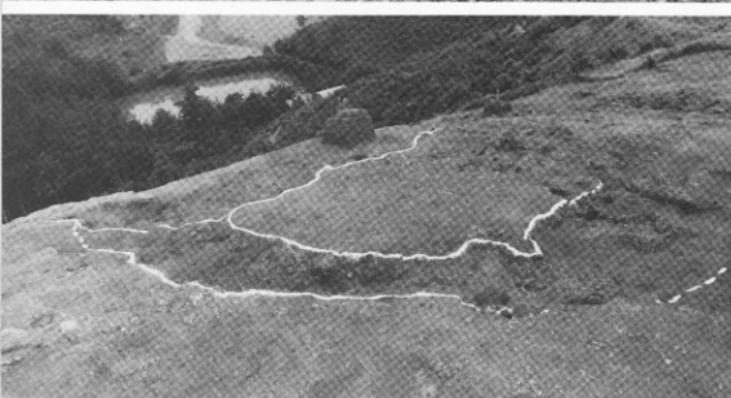
図版10



B-2号横穴墓  
前庭遺物



後背周溝・盛土墳丘  
土層断面

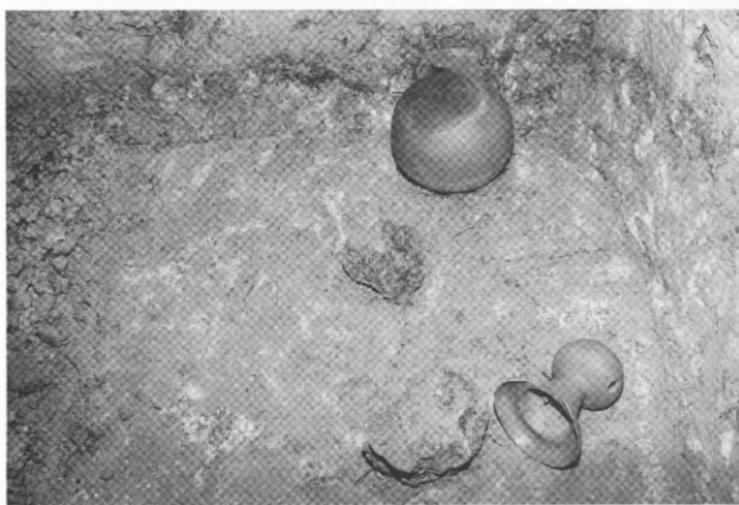


後背周溝・テラス  
完掘状況

図版11



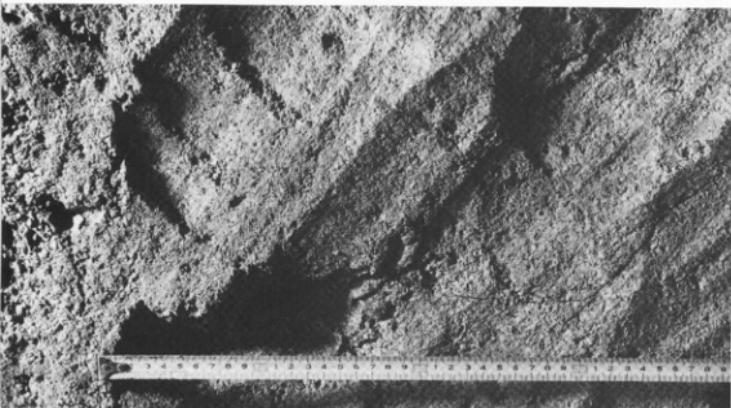
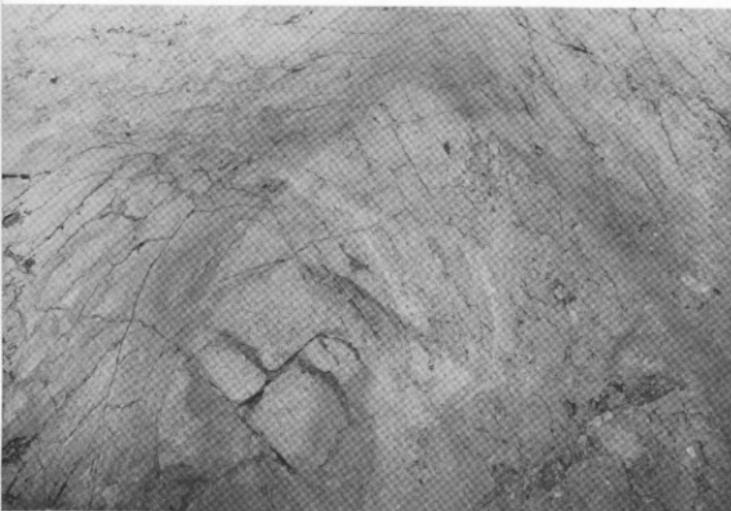
B—2号横穴墓玄室内  
礫床と遺物出土状況



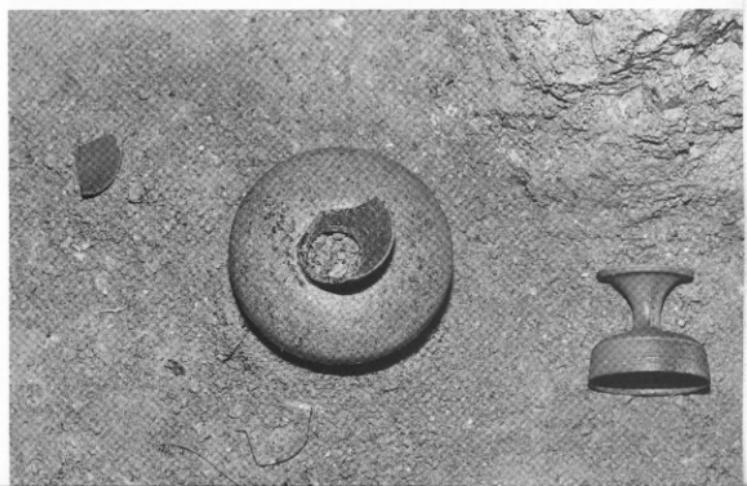
棺台と遺物出土状況



B—3号横穴墓発掘状況



図版13

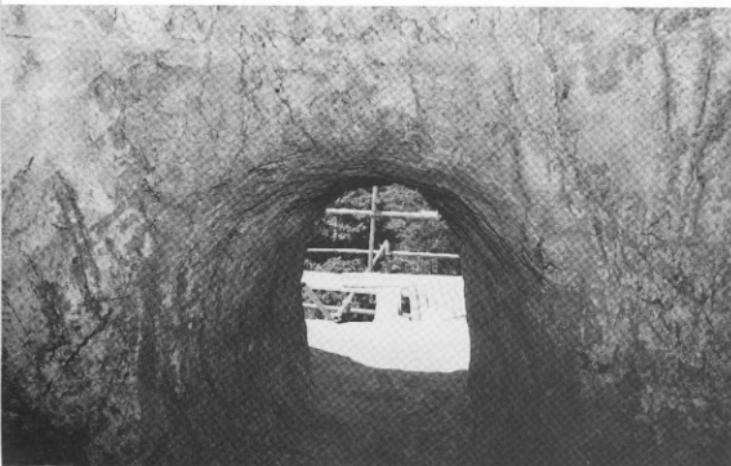




C—2号横穴完掘状況



C—3号横穴墓  
完掘状況



玄門・前壁  
(玄室内より)

図版15

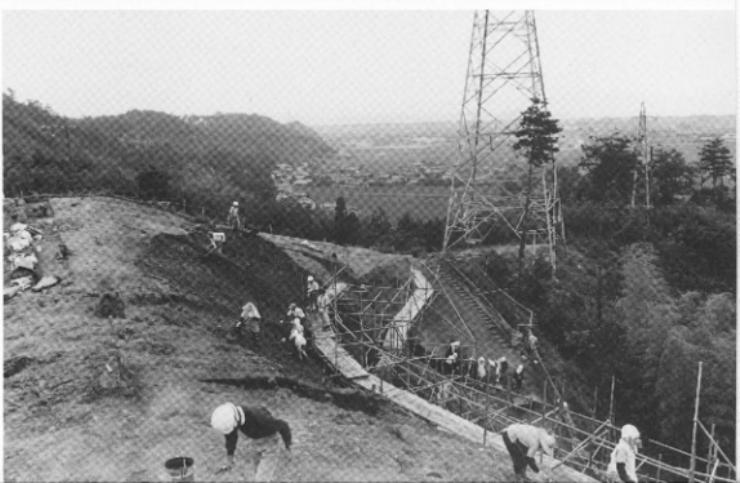
C—3号横穴墓玄室内  
遺物出土状況



遺物出土状況



C区北側斜面  
保安足場



図版16



C-4号横穴墓  
完掘状況



↑  
前庭遺物  
出土状況



玄室内  
遺物出土状況

图版17

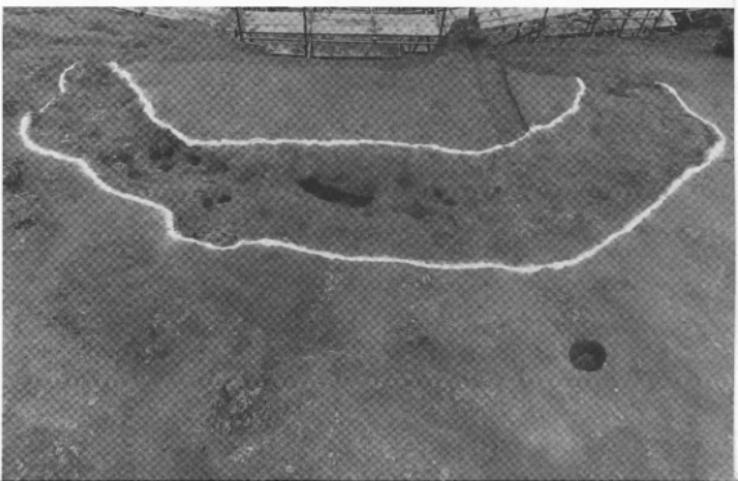
C—4号横穴墓玄室内  
遗物出土状况



玄室内  
遗物出土状况



后背周溝完掘状况





C-5号横穴墓  
完掘状況



土層断面



不明遺構

図版19



C—6号横穴墓  
完掘状況



前庭遺物出土状況



閉塞押さえ石

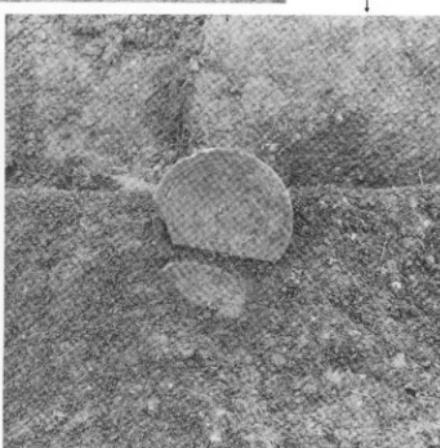


C—6号横穴墓  
玄室完掘状況



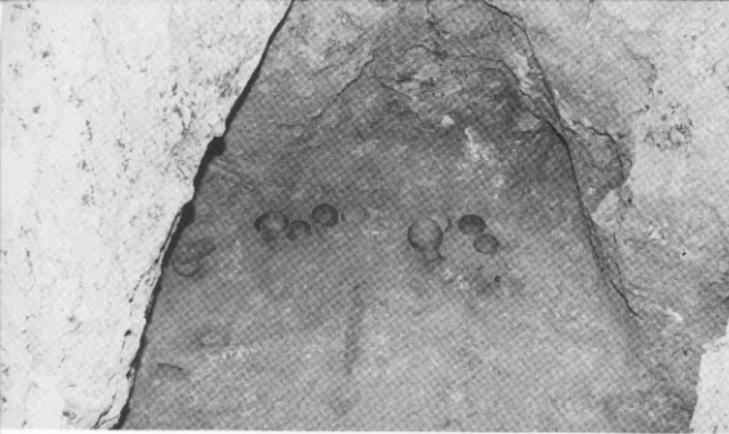
玄室内  
遺物出土状況

遺物出土状況

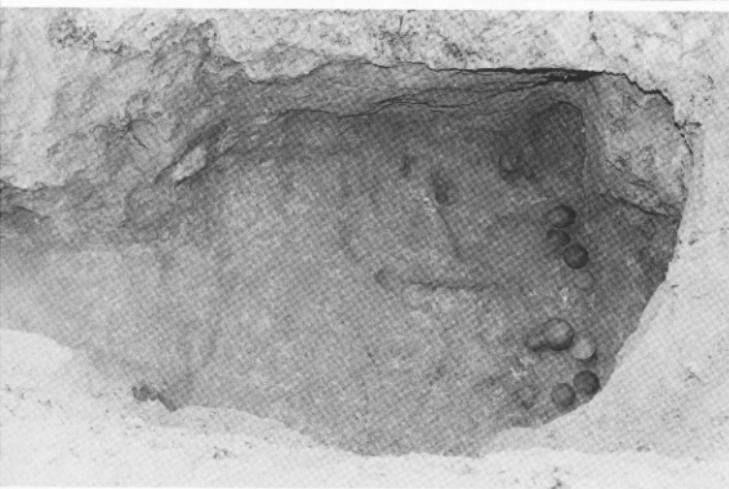


図版21

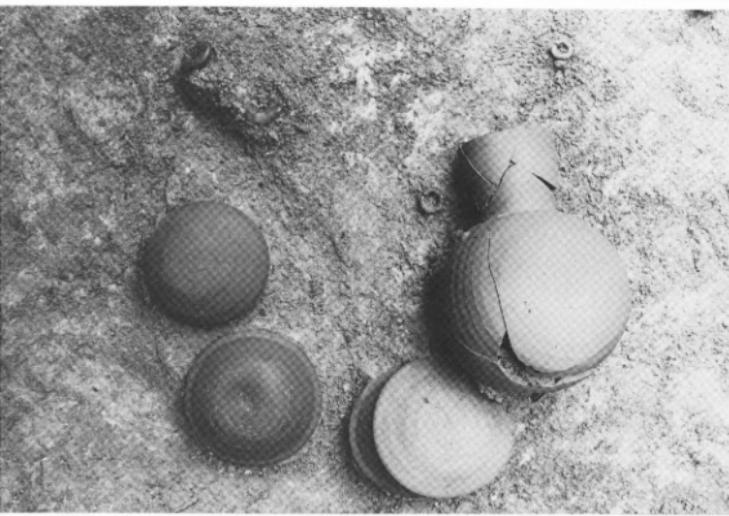




C—7号横穴墓玄室内  
遺物出土状況

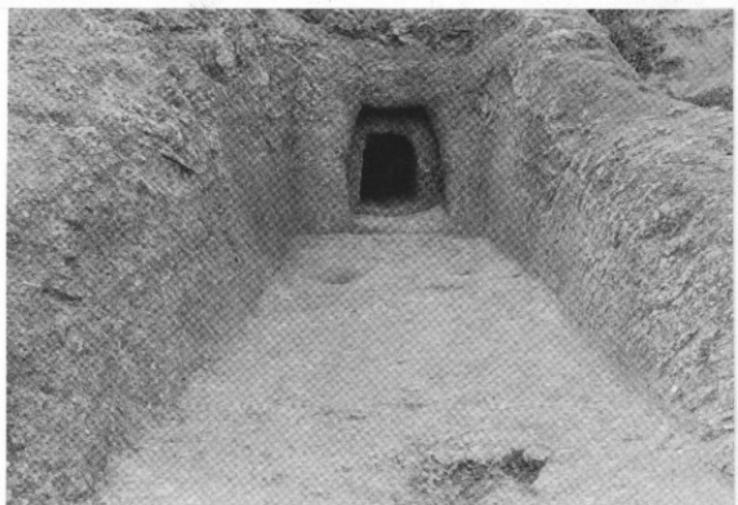


玄室内  
遺物出土状況



玄室内  
遺物出土状況

図版23



C-8号横穴墓  
完掘状況



羨道部及び玄門



前庭遺物出土状況



C—8号横穴墓玄室奥壁



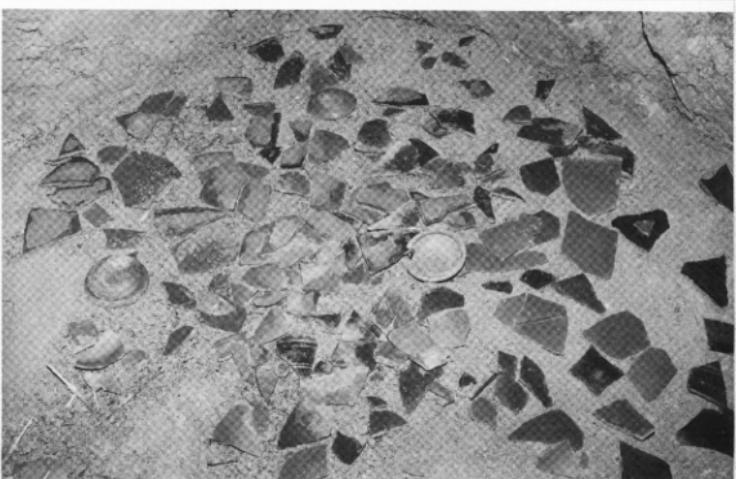
玄室内  
須恵器・屍床・人骨出土状況

图版25

C—8号横穴墓  
玄室内須恵器屍床  
遺物出土状况



玄室内須恵器屍床  
遺物出土状况



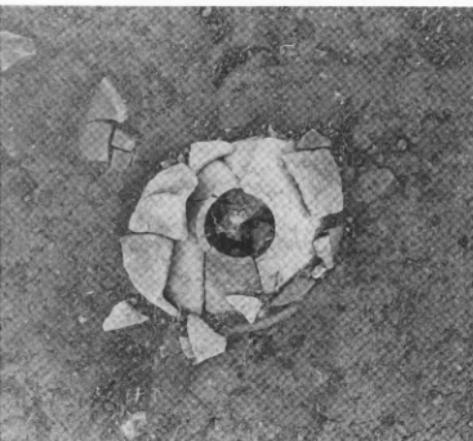
C—9号横穴  
完掘状况





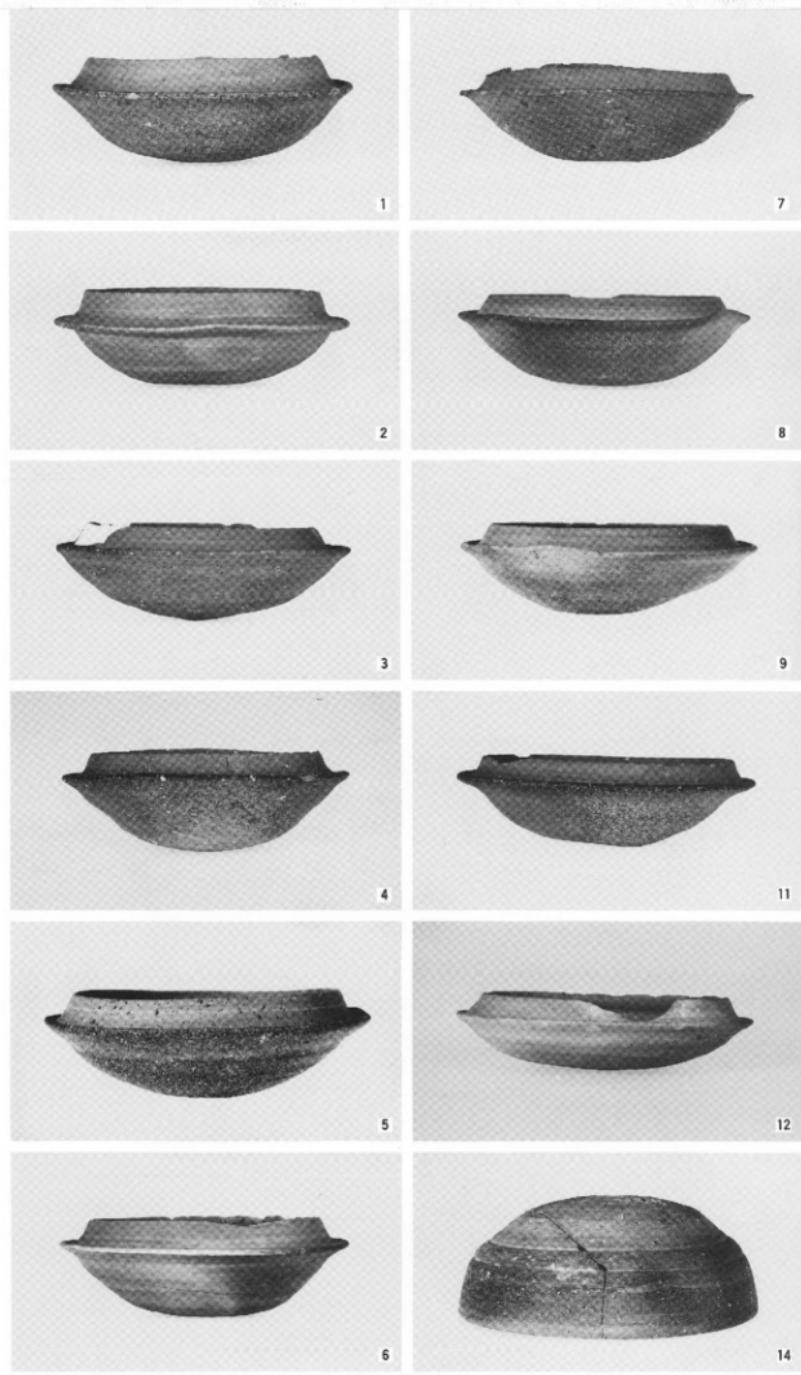
不明遺構 1

B区頂部平安時代土器  
出土状況 ↓



不明遺構 2

図版27



図版28



16



20



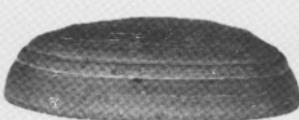
17



21



18



22



19



23



24

図版29



25



25



192

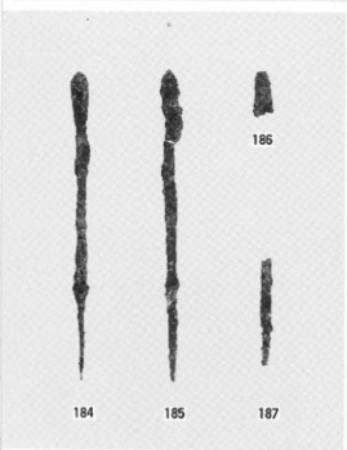
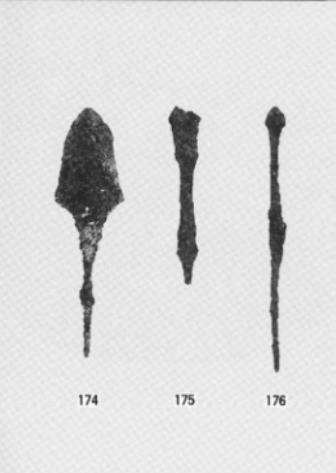
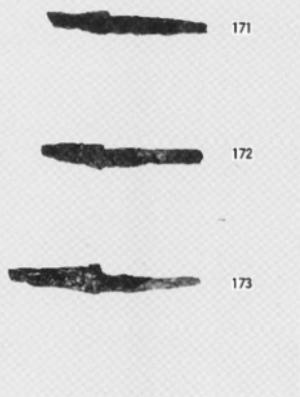
193



26



27



図版31



28



31



29



32



30



33

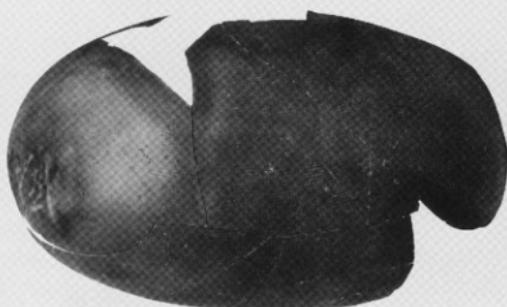
図版32



34



34



35



194



309

310

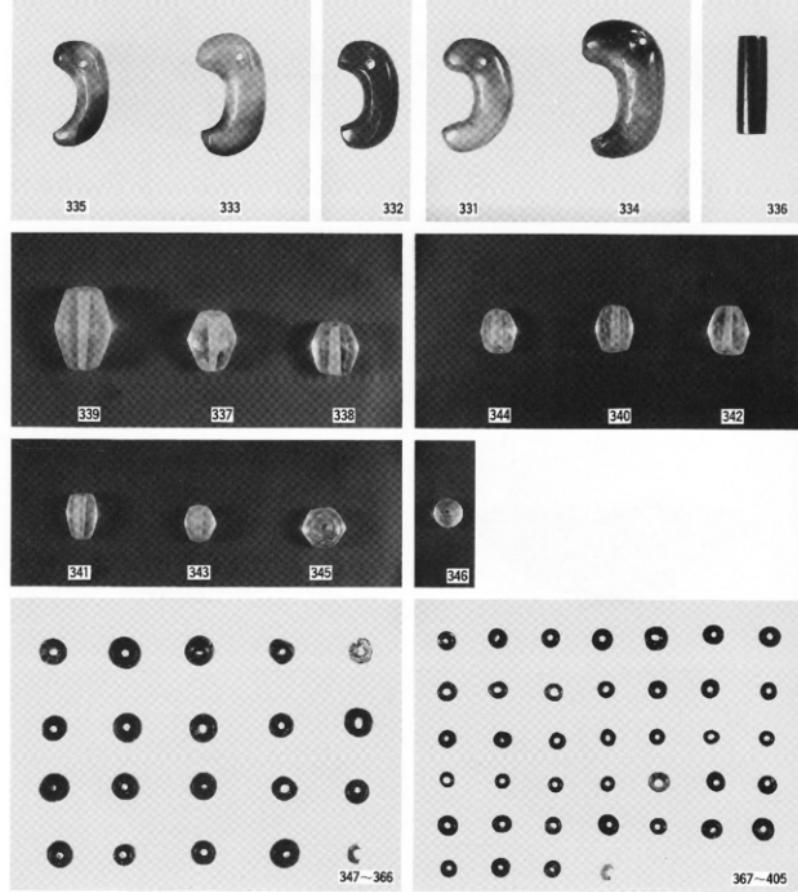


35



36

図版33



図版34



37



43



38



44



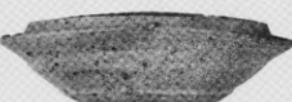
39



45



40



46



41



47

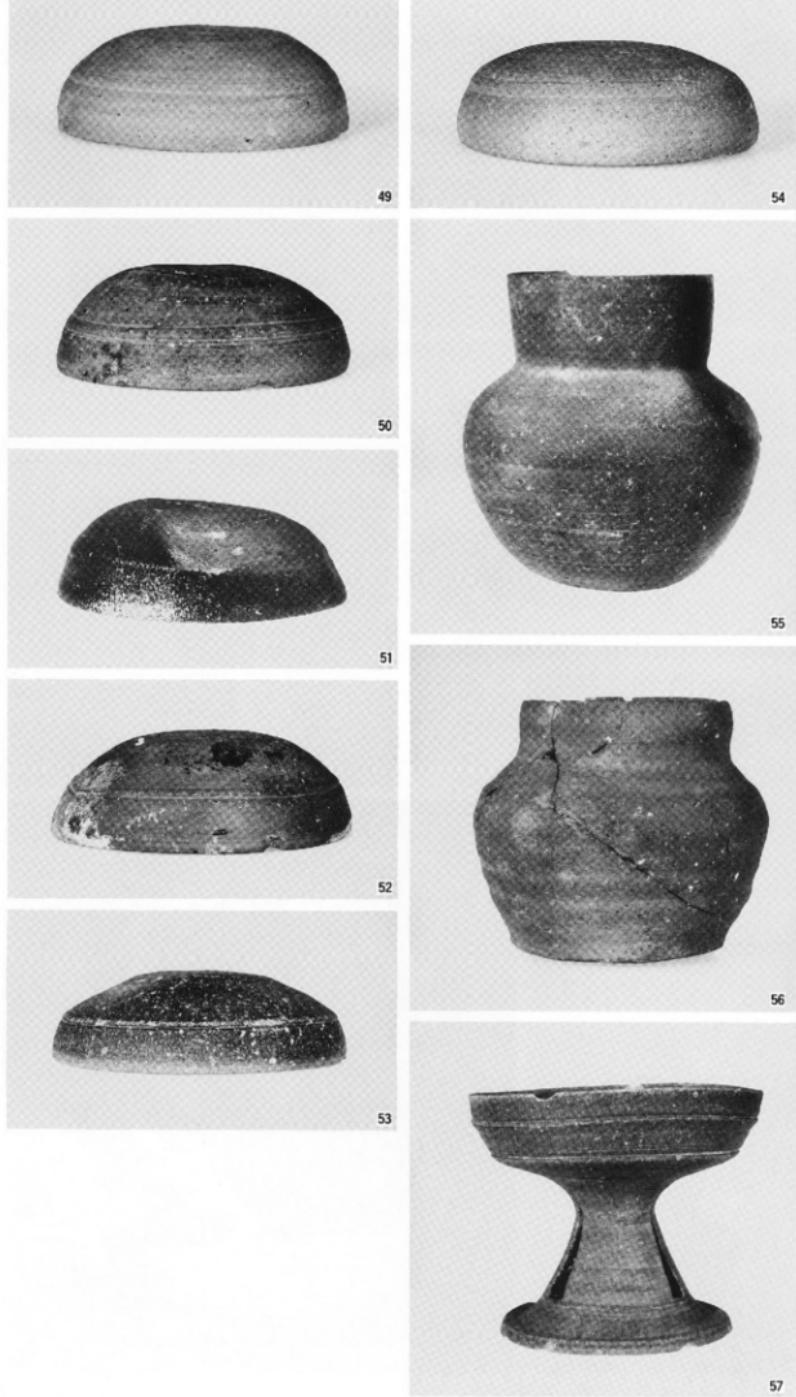


42

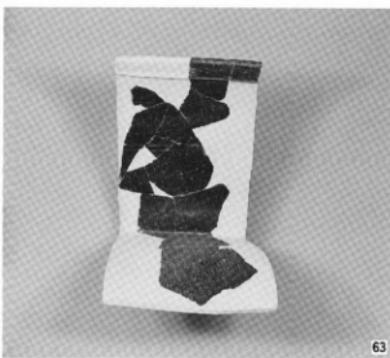


48

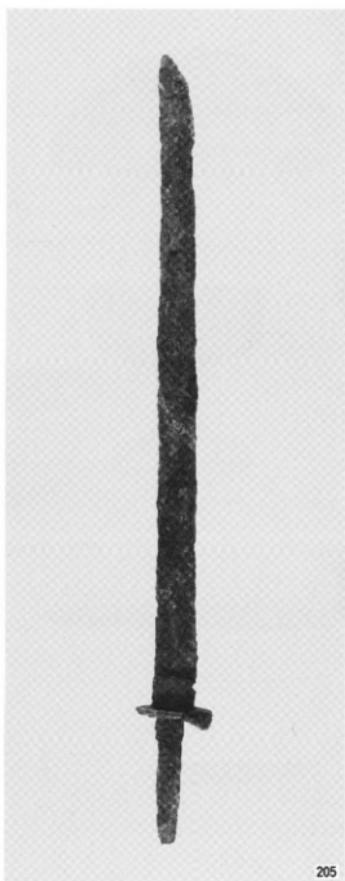
図版35



図版36



図版37



205



311

312



204



195



196

198

197

202



199

201

200

203



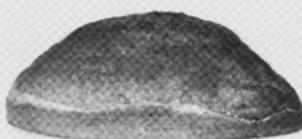
65



68



66



69



71



70



206



71

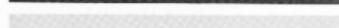
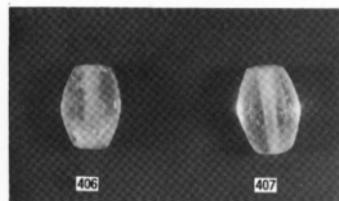
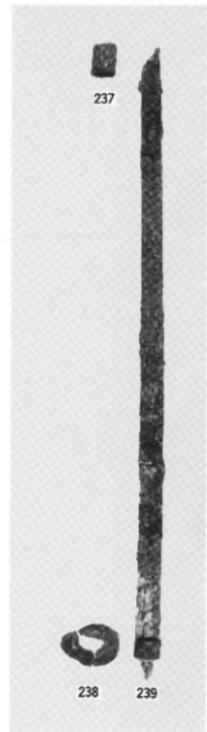


207



208

図版39



図版40



72



79



73



76



74



77

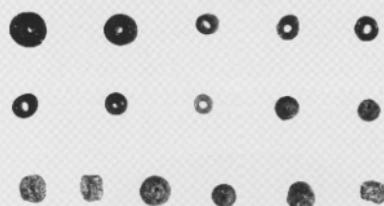


75



78

図版41



C-3号, C-4号各横穴墓出土 玉類

図版42



81



87



82



88



83



89



84



90



85



91



86



94

図版43



96



92



97



98



97



98



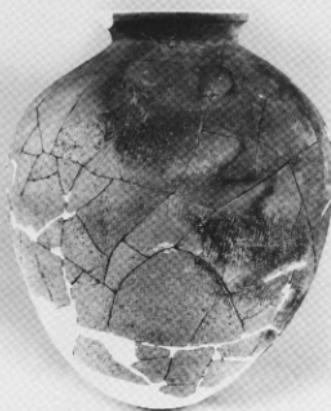
240



100



257



101



251

252~254

255

256



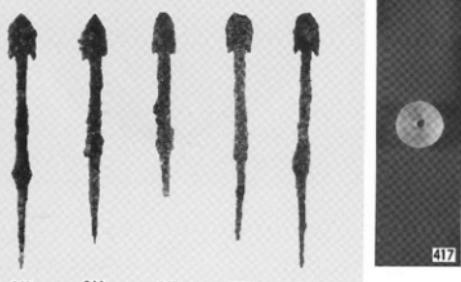
246

247

248

249

250



241

244

245

242

243

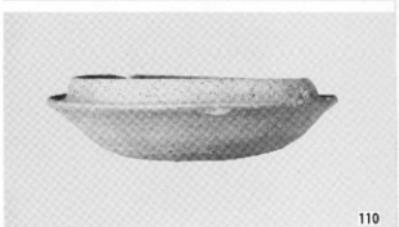
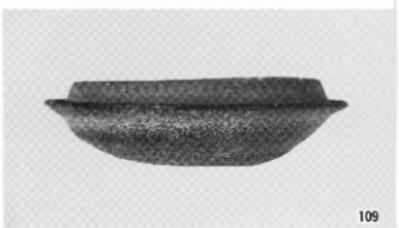
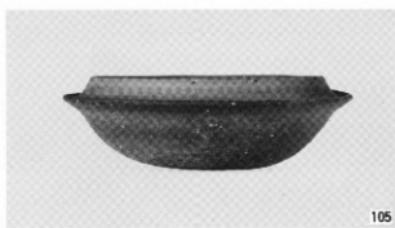
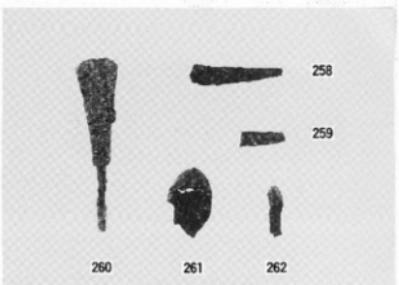
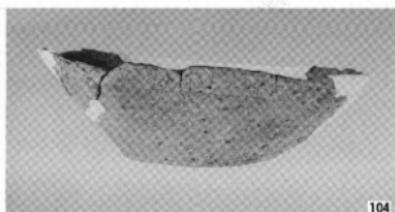
417



321

322

図版45





113



114



115  
116



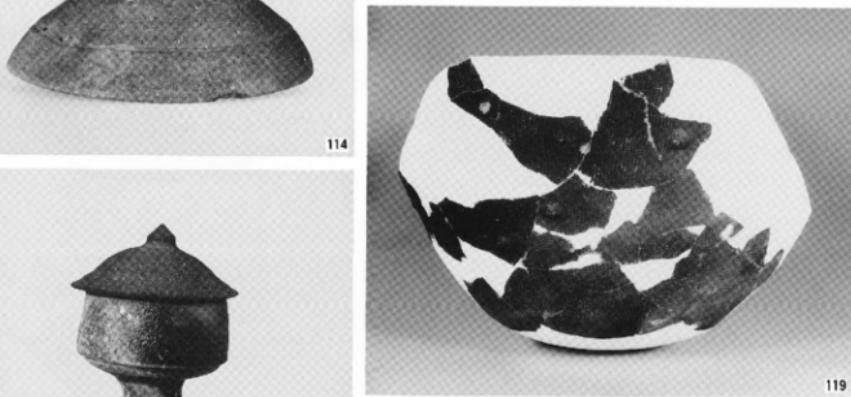
118



117



119

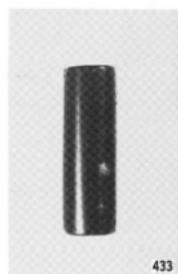


273



274

図版47



323



324



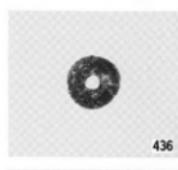
275



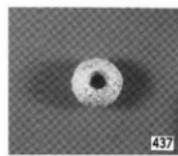
276



277



436



437



263



272



268



271



267



270



286



287



326



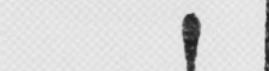
325



327



328



282



283



284



285



434



435



278



279



280

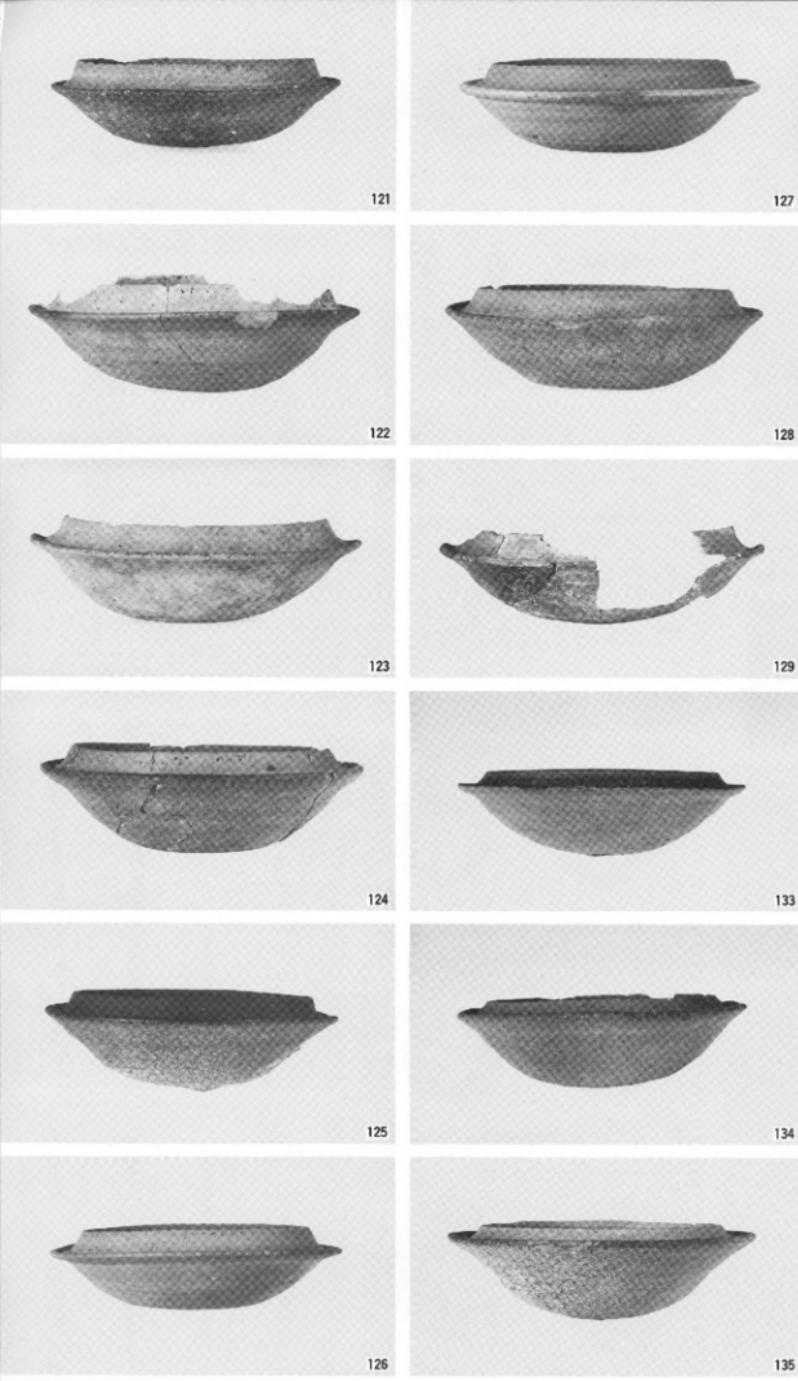


281

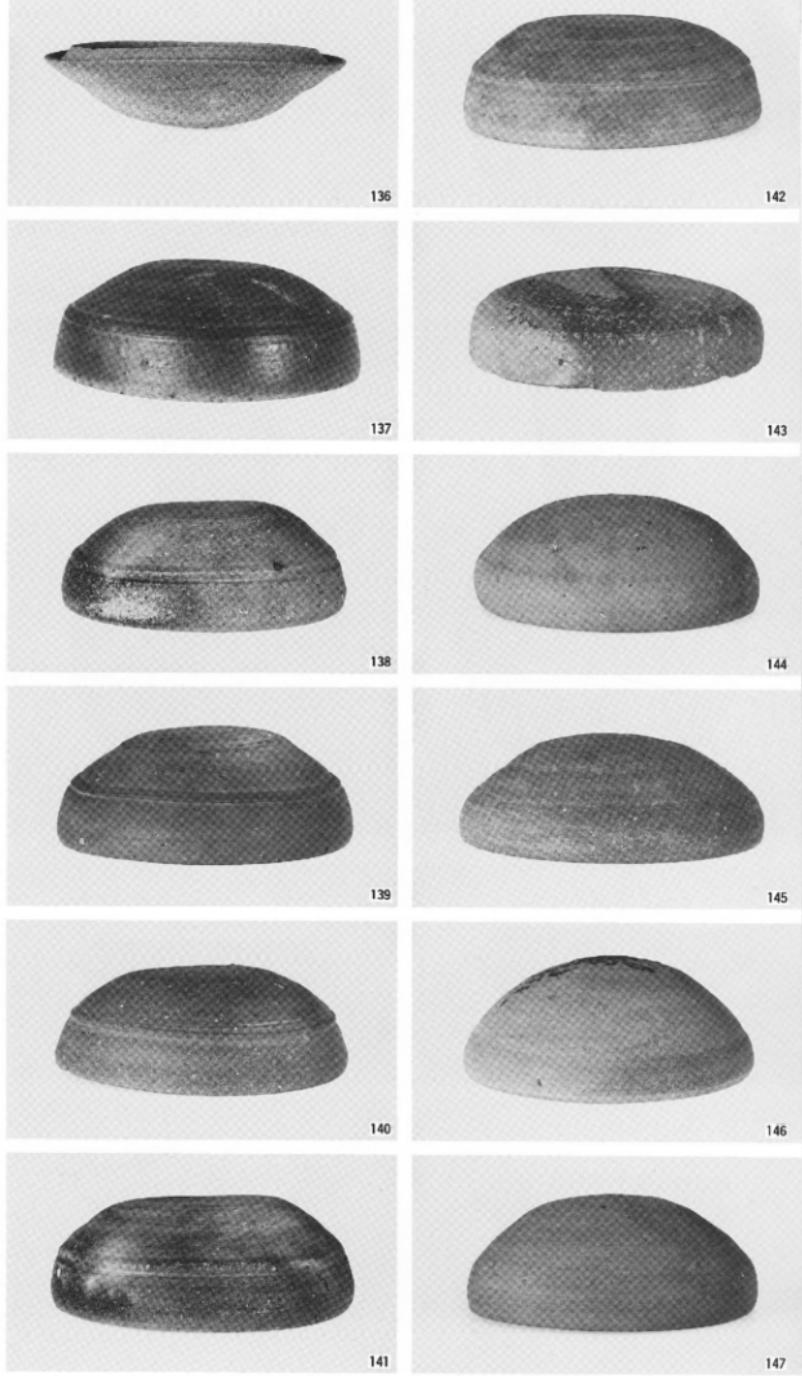
288

289

図版48



図版49





148



149



150



150



151



153



152



154

図版51



155



156



157



158



159



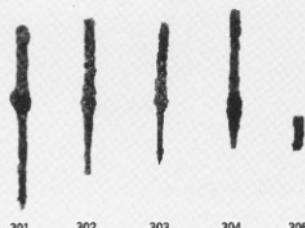
160



161

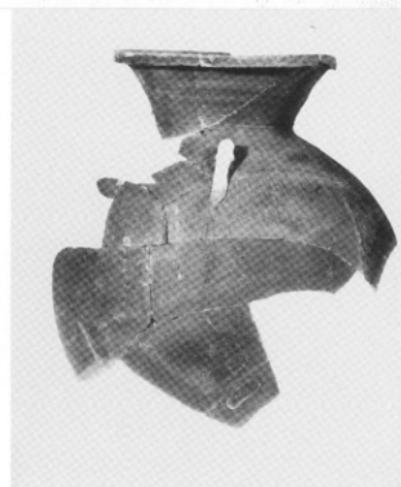


162





164



164



438



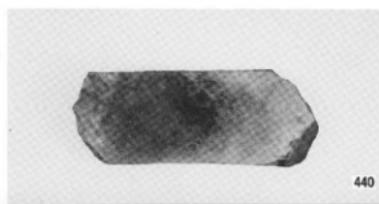
165



439



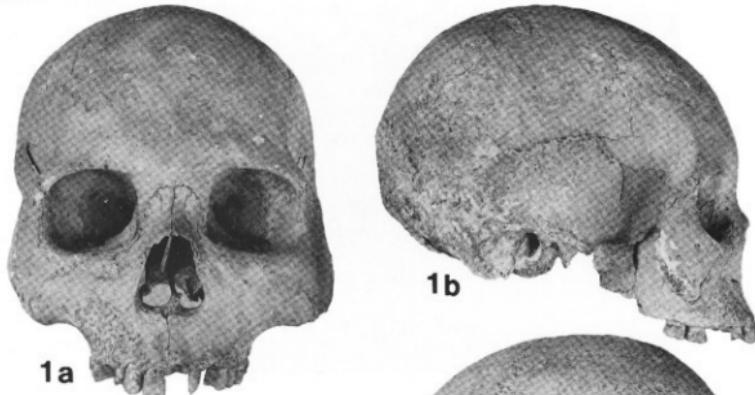
170



440

## 付論図版

付論図版 I



1a

1b



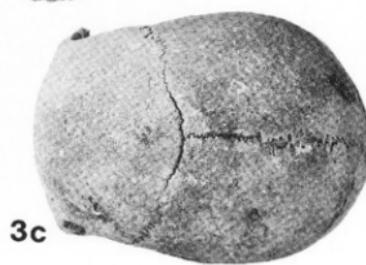
2a



2b



3a



3c

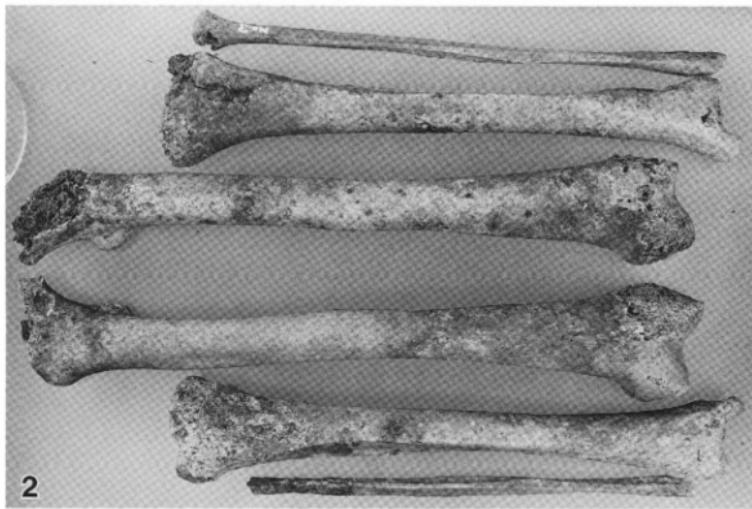


3b

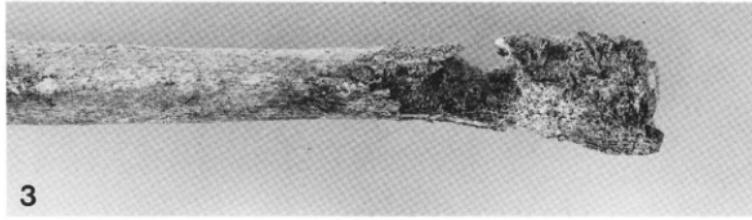
A - 2号横穴墓 1a, b : 1号人骨頭蓋, 2a, b : 2号人骨頭蓋, 3a, b, c : 5号人骨頭蓋



1



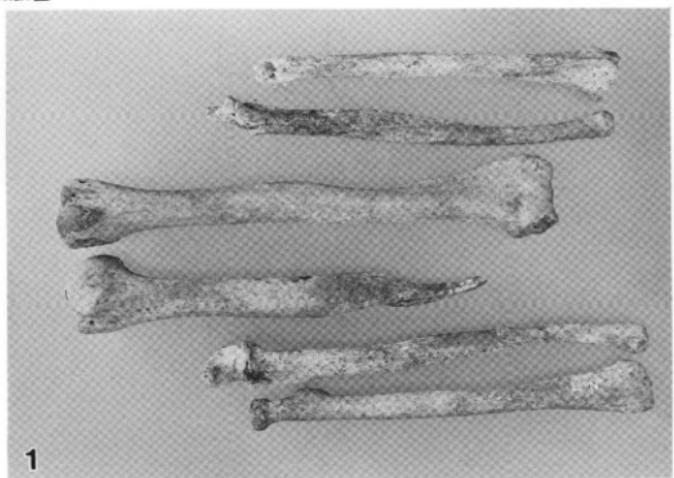
2



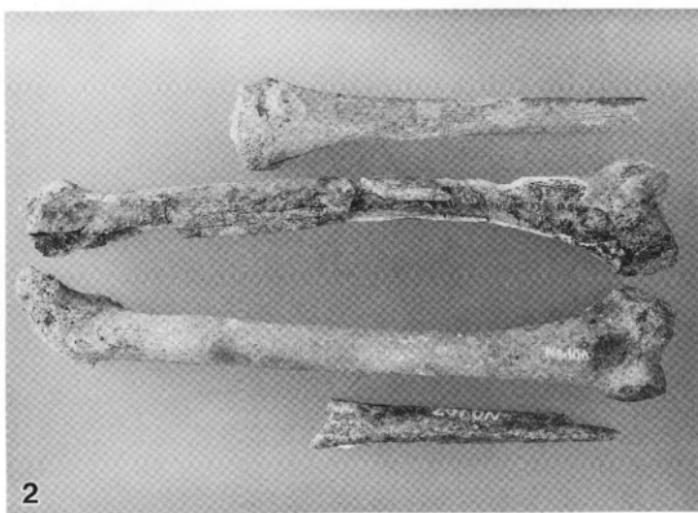
3

A—2号横穴墓 1:1号人骨上肢骨, 2:1号人骨下肢骨, 3:4号人骨左脛骨(骨髄腔内に砂を認める)

付論図版Ⅲ



1

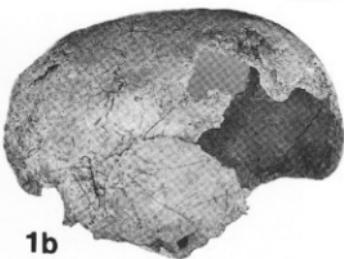


2

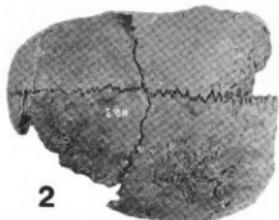
A - 2号横穴墓 1:2号人骨上肢骨, 2:5号人骨下肢骨



1a



1b



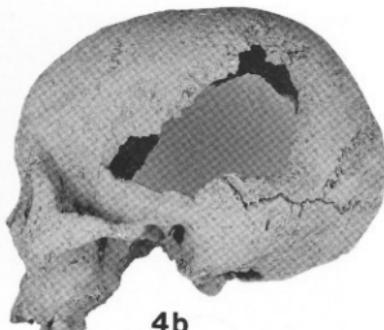
2



3



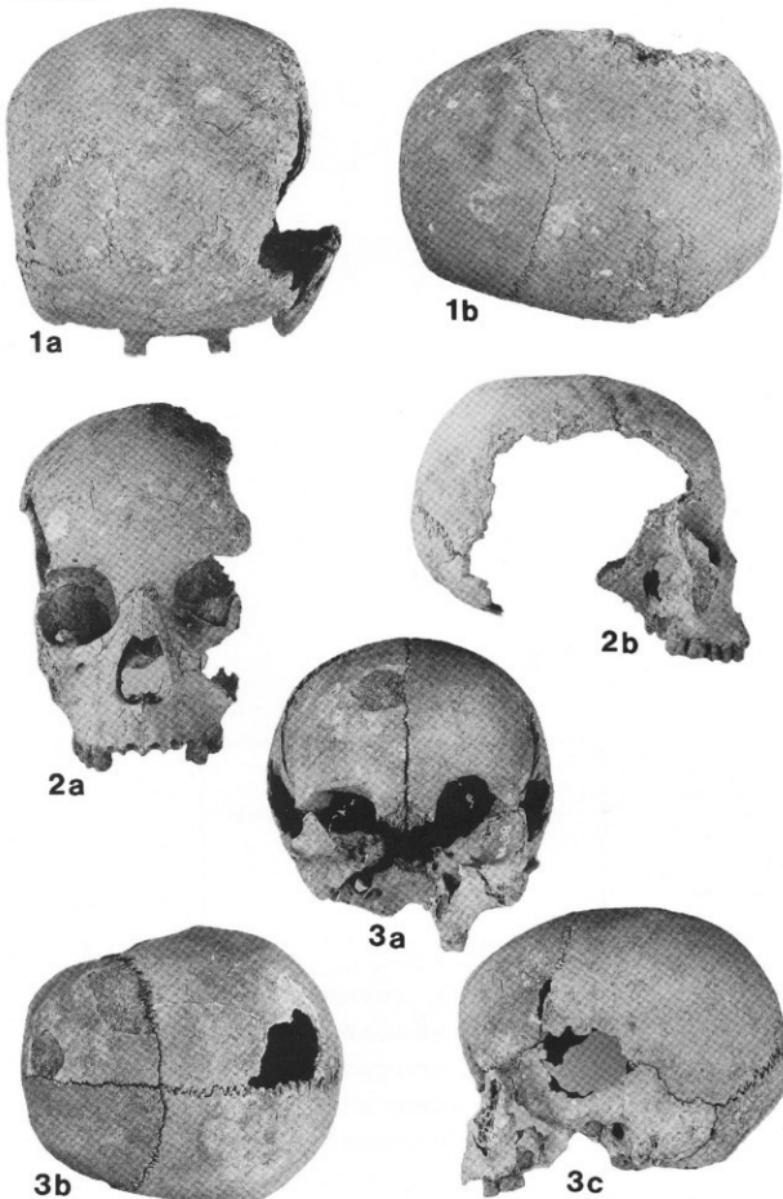
4a



4b

C—8号横穴墓 1a,b:第1頭蓋, 2:第3頭蓋, 3:第4頭蓋, 4a,b:第5頭蓋

付論図版V



C—8号横穴墓 1a,b:第5頭蓋,2a,b:第6頭蓋,3a,b,c:第7頭蓋

鳥取県教育文化財団報告書23

一般国道9号改築予定地内遺跡調査報告書

**大塔山横穴墓群**

発行 1987・3

発行者 財團法人 鳥取県教育文化財団

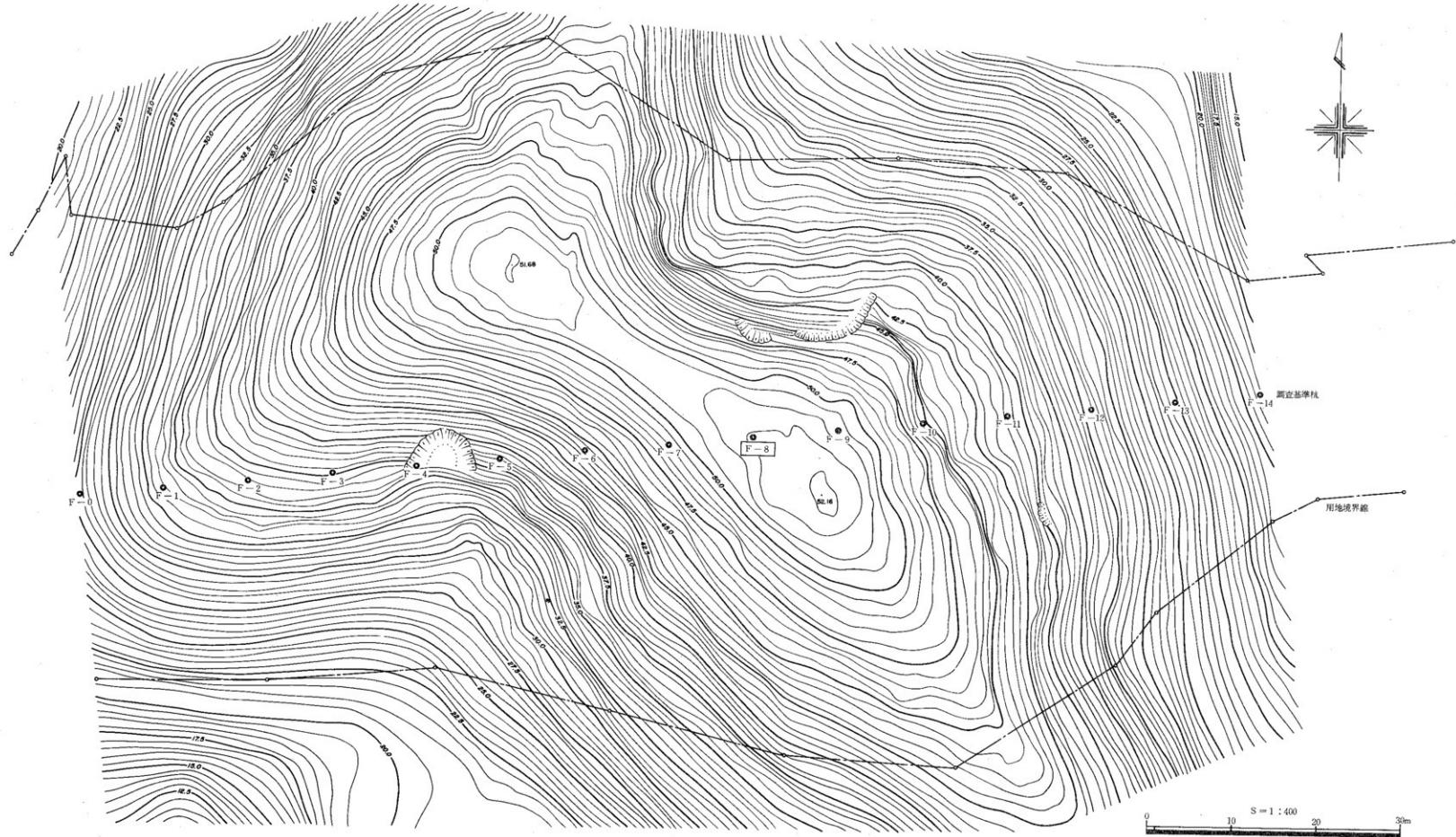
〒680 鳥取県社会教育福祉会館内

TEL (0857) 27-5252 (代表)

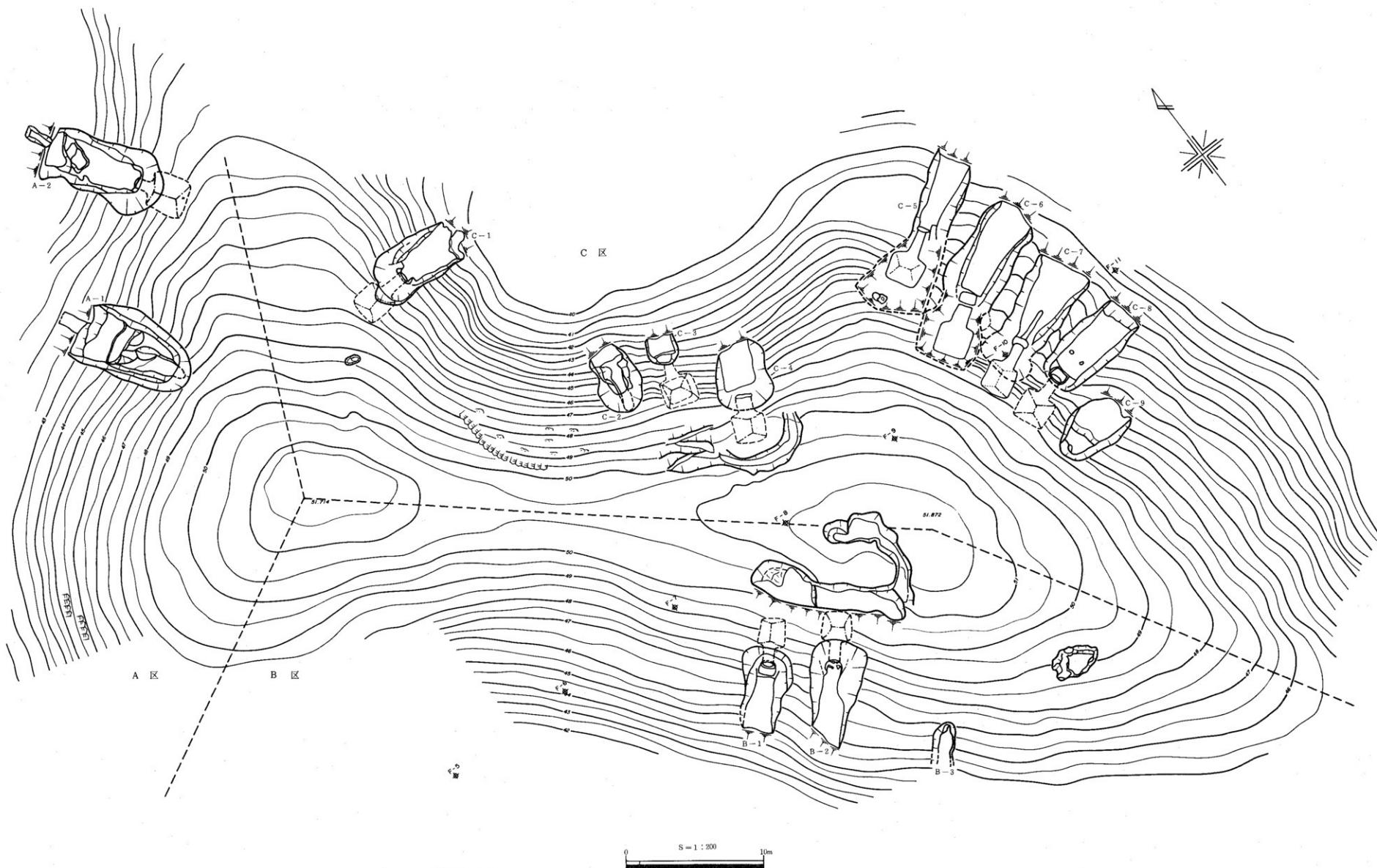
印 刷 日ノ丸印刷株式会社

〒680 鳥取市寿町915

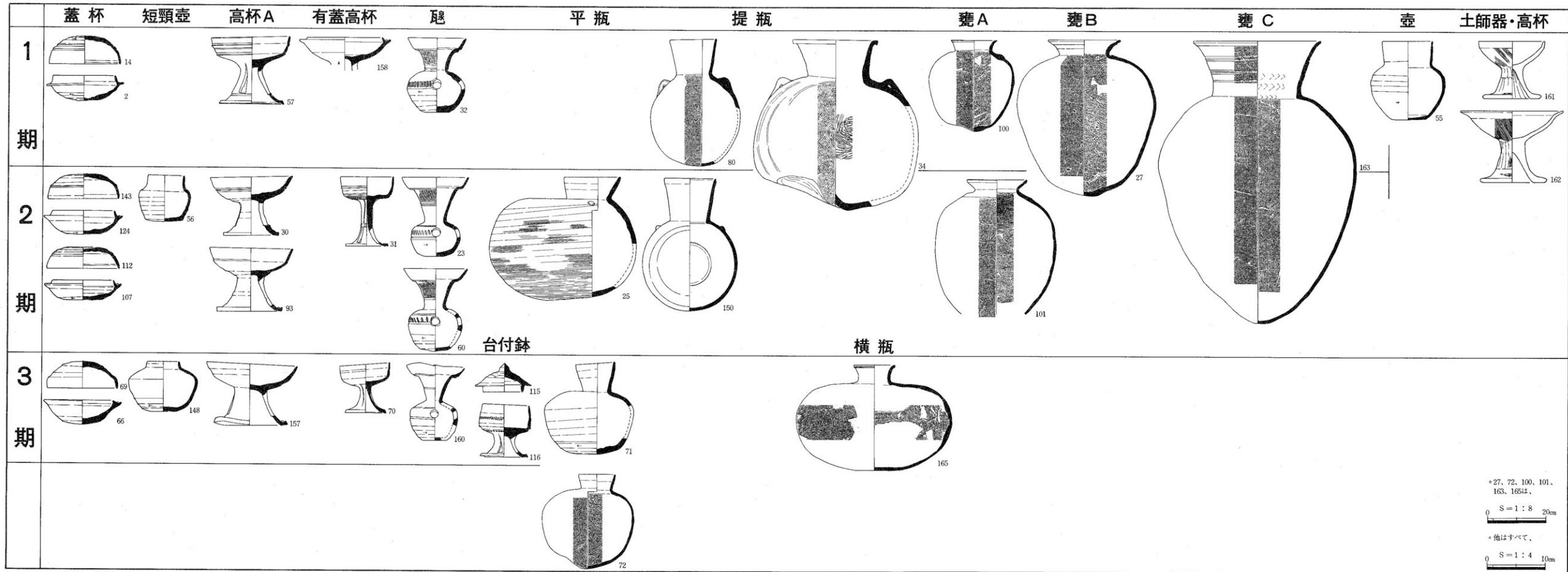
TEL (0857) 22-2248 (代表)



付図1 大炎山横穴墓群調査前地形測量図



付図2 大塔山横穴墓群全体図



付図3 大塚山横穴墓群 土器編年表 (土器右下の番号は遺物番号)